

少年審判通訳ハンドブック

【フィリピン（タガログ語）】

（改訂版）

最高裁判所事務総局

はじめに

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われまゝ。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われまゝ。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていること役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

目 次

第1編	少年審判の概要	
第1	少年審判の意義と基本原理	1
1	少年審判の意義	1
2	少年審判の基本原則	1
(1)	教育主義（保護主義）	1
(2)	個別処遇の原則（処遇の個別化）	2
(3)	職権主義	3
第2	少年審判手続の流れ	3
1	事件の受理	3
(1)	対象事件	3
ア	少年保護事件	3
(ア)	犯罪少年	3
(イ)	触法少年	3
(ウ)	ぐ犯少年	3
イ	強制的措置許可申請事件	4
ウ	準少年保護事件	4
(2)	事件受理の態様	4
2	観護措置	4
(1)	意義	4
(2)	手続	5
ア	通訳人の氏名などの確認及び宣誓	5
イ	家庭裁判所調査官による面接	5
ウ	裁判官による観護措置決定手続	5
(ア)	少年の氏名などの確認	5
(イ)	黙秘権及び付添人選任権の告知	6

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取	6
(エ) 決定の告知	6
(オ) ウィーン条約の説明	6
(3) 期間など	6
3 調査	7
(1) 裁判官による法的調査	7
(2) 家庭裁判所調査官による社会調査	7
4 審判	8
(1) 審判の開始	8
(2) 審判の場所，関与者など	8
(3) 手続	9
ア 審判開始の宣言	9
イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓	9
ウ 少年の氏名などの確認	9
エ 黙秘権の告知	9
オ 非行事実の審理	9
カ 要保護性の審理	10
キ 決定の告知	10
(ア) 保護処分	10
a 保護観察	10
b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致	10
c 少年院送致	11
(イ) 不処分	11
(ウ) 知事又は児童相談所長送致	11
(エ) 検察官送致	11
(オ) 試験観察	12

	(カ) 没取	12
	(キ) 訴訟費用の負担	13
	ク 保護処分の趣旨の説明	13
	ケ 抗告権の告知	13
	コ ウィーン条約の説明	13
5	検察官及び弁護士である付添人が関与した審理	13
6	被害者等の傍聴	14
第2編	通訳に当たっての注意事項	15
第1	一般的注意事項	15
第2	具体的注意事項	17
1	観護措置決定手続段階	17
2	調査段階	17
3	審判段階	18
第3編	定型文言の対訳	20
第1	観護措置決定手続	20
1	家庭裁判所調査官による面接	20
2	前置き	20
3	少年の氏名などの確認	22
4	黙秘権の告知	22
5	付添人選任権の告知	22
6	非行事実の告知	22
7	少年の弁解の聴取	24
8	観護措置をとらない場合	24
9	観護措置をとる場合（決定の告知等）	24
10	少年鑑別所収容の通知の説明	24
11	ウィーン条約の説明	24

第2	調査手続	26
1	前置き	26
2	少年の氏名などの確認	26
3	手続の説明	26
4	審判の説明	28
5	処分の説明	28
第3	審判手続	30
1	審判開始の宣言	30
2	少年の氏名などの確認	30
3	黙秘権の告知	30
4	被害者等の傍聴がある場合の説明	32
5	非行事実の告知	32
6	少年の弁解の聴取	32
7	証人尋問手続	32
8	聴取の終了	34
9	調査官の意見陳述	34
10	付添人の意見陳述	34
11	決定などの告知及びその説明	34
12	抗告権の告知（保護処分に付された場合）	34
13	ウィーン条約の説明 （少年院送致や少年院への戻し収容の場合）	34
第4	非行事実の告知	36
1	窃盗罪（万引）の例	36
2	窃盗罪（バイク盗）の例	36
3	遺失物等横領罪の例	36
4	傷害罪の例	36

5	強盗罪の例	38
6	殺人罪の例（その1）	38
7	殺人罪の例（その2）	38
8	覚せい剤取締法違反の例	38
9	毒物及び劇物取締法違反の例	40
10	過失運転致傷罪の例	40
11	道路交通法違反（無免許運転）の例	40
12	道路交通法違反（速度違反）の例	40
13	売春防止法違反の例	40
14	出入国管理及び難民認定法違反の例	42
15	ぐ犯の例	42
第5	決定などの告知及びその説明	42
1	保護観察決定などの告知及びその説明	42
	(1) 保護観察決定の告知及びその説明	42
	(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明	44
2	児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明	44
3	少年院送致決定などの告知及びその説明	44
	(1) 少年院送致決定の告知及びその説明	44
	(2) 処遇勧告の告知及びその説明	44
	ア 短期間の処遇勧告の説明	44
	イ 特別短期間の処遇勧告の説明	44
4	不処分決定の告知	44
5	知事又は児童相談所長への送致決定の告知	46
6	検察官送致決定の告知	46
7	強制的措置許可決定の告知	46

8	強制的措置不許可決定の告知	46
9	試験観察決定などの告知及びその説明	46
10	没取決定の告知	46
11	訴訟費用負担決定の告知	46
12	戻し収容決定の告知	48
13	収容継続決定の告知	48
14	保護処分の取消決定の告知	48
15	施設送致決定の告知	48
第6	書式例	50
書式1	少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）	50
書式2	少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）	52
書式3	審判期日通知書	54
書式4	呼出状	56
書式5	呼出状（調査）	58
書式6	同行状（緊急）	60
書式7	観護措置通知書	62
書式8	付添人選任届	64
書式9	付添人選任に関する通知及び照会	66
書式10	付添人選任に関する回答書	68
書式11	決定通知書（審判不開始決定）	70
書式12	証人召喚状	72
書式13	証人等整理票	74
書式14	宣誓書	76
書式15	通報の要請に関する照会	78
第4編	用語の対訳	80
第1	法律関係用語	80

第2	調査関係用語	92
第3	官庁等諸機関名	95
第4	法令名	99
第5	罪名	104
	少年保護事件の手続の流れ	108

第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理

1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。）、家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判廷で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

2 少年審判の基本原則

(1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適當な場合に限って科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考えと、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることが期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義）、家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

(2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっています。

(3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられています。少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場に関与するものとされています。

第2 少年審判手続の流れ

1 事件の受理

(1) 対象事件

ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分にするかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

(ア) 犯罪少年

1 4歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

(イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

(ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかかわしい場所に入出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

(2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察(司法警察員)からの送致(法41条)、検察官からの送致(法42条)のほか、知事又は児童相談所長からの送致(児童福祉法27条1項4号、法3条2項)。家庭裁判所調査官からの報告(法7条1項)、一般人からの通告(法6条1項)があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます(法6条の7第2項、児童福祉法27条の3)。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています（刑事訴訟法247条）が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に関心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

2 観護措置

(1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が随時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

(2) 手続

ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

ウ 裁判官による観護措置決定手続

(ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し、無理に答える必要はありません。また、少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに、刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが、少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は、少年に対し、観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ、観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は、原則として2週間ですが、特に継続の必要があるときは、更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが、例外的に、更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

3 調査

(1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

(2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査）、非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や

非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくるとや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名誉を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

4 審判

(1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

(2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項）、少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

(3) 手続

ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聴き、その上で捜査機関から送られてきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならないとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確認し、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

(ア) 保護処分

a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るものです（法24条1項1号）。

b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送って教育や養護を行うものです（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるように指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適当であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 検察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

(オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、(ア)から(エ)までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

(カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ） 訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法 22 条の 2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法 22 条の 3 第 1 項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができることとされています（法 22 条の 3 第 2 項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができます。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法 22 条の 4）。

第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんは、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくこととなります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

第1 一般的注意事項

1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。

もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知れると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることもあるかと思われまます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれが多分にあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることがありますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からないことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

第2 具体的注意事項

1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に收容するか否かを定める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手続段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

2 調査段階

- (1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

- (2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言をできるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い直しますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からない言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からない言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めると、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。
審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあり

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からない言葉があるなど通訳がやりにくいと感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を付けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めると、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

第3編 定型文言の対訳

〔一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。〕

第1 観護措置決定手続

1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

〔ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。〕

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聴かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

I. Pamamaraan ng Pagsasagawa ng mga Hakbangin para sa Pagpigil at Pagkukop

1. Panayam ng Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya kung isasagawa

(Maliban sa nakasulat dito, maaari lamang na sumangguni sa nilalaman mula sa Pangalawang Bahagi na pinamagatang “Pagmamaraan ng Pagsusuri”, bilang 2.)

Ako ay si _____, Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya.

Una sa lahat, magtatanong ako tungkol sa iyong nagawang pagkakamali at ang kasaluykuyang kalagayan ng iyong pamumuhay. Pagkatapos nito, kakapanayamin ka ng Hukom.

Sa panayam ng Hukom, tatanungin muli ang iyong pangalan, araw ng kapanganakan, hanapbuhay, nasyonalidad, tirahan sa bansang Hapon at iba pa.

Sa panayam ng Hukom, ipaliliwanag sa iyo ang iyong pagkakamali. Bibigyan ka ng pagkakataong magpaliwanag tungkol dito.

Kung mayroong mga puntong taliwas sa katotohanan o hindi mo kayang tanggapin, magsabi ka sa pagkakataong ito.

Isasaalang-alang ng Hukom ang kabuuan ng iyong pagkakamali, ang kalagayan ng iyong pamumuhay hanggang sa kasalukuyan at iba pang mga bagay at aalamin ang iyong mga suliranin upang mapagpasyahan niya kung kinakailangan kang ipasok sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan.

2. Panimula

Ako ay Hukom ng _____.

Ipinadala ka dito dahil sa kasong _____.

Titiyakin ng hukuman kung totoong may nagawa kang pagkakamali at magpapasya ng panghuling hakbangin para sa iyo.

いくこととなりますが、今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これからの手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からないときは、何でも遠慮なく聞いてください。

3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

Sa ganoong palagay, sa araw ding ito, pagpapasyahan kung may pangangailangang ipadala ka sa isang Tahanang Paurian ng mga Kabataan para malaman ang iyong mga suliranin.

Ang mga pamamaraang isasagawa mula ngayon ay isasalin ng isang tagapagsaling itinalaga ng hukumang ito at nanumpang magsasalin nang buong katapatan.

Kung mayroon kang hindi nauunawaan sa aking mga sinasabi, huwag kang mag-atubiling magtanong.

3. Pagtitiyak sa pangalan ng bata at iba pang mga bagay

Ano ang iyong pangalan?

Kailan ka ipinanganak?

Ano ang iyong nasyonalidad?

Saan ka naninirahan sa bansang Hapon?

Ano ang iyong hanapbuhay?

4. Pagpapahayag ng Karapatang Magsawalang-kibo

Mula ngayon tatanungin kita ukol sa iba't ibang bagay nguni't hindi mo kinakailangang sagutin pilit ang mga ito. Kung ikaw ay magsasawalang-kibo, hindi ito kawalan para sa iyo.

Subalit huwag kang mag-atubiling magsalita kung mayroon kang nais sabihin.

Isaisip mo lamang na anuman ang iyong sasabihin ay maaaring gamiting ebidensya, ito man ay makakabuti o makakasama sa iyo.

5. Pagpapahayag ng Karapatang Humirang ng Tagapaglingkod

Ikaw at iyong mga tagapangalaga, tulad ng iyong ama o ina, ay maaaring humiling ng tagapaglingkod para sa paglilitis ng kasong ito.

Ipagtatanggol ng tagapaglingkod ang iyong mga karapatan at bibigyan ka niya ng payo habang nakikipagtulungan sa pagdinig ng hukuman.

Kung hihirang ka ng isang tagapaglingkod maliban sa isang abogado, kailangan ito ng pahintulot mula sa Hukumang Pampamilya.

6. Pagpapahayag ng Nagawang Pagkakamali

Babasahin ko ngayon ang nilalaman ng kasong ipinadala mula sa Taga-usig (o Pulisya).

Maaari lamang na makinig ka nang mabuti.

[第4 (非行事実の告知) 参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わったわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合 (決定の告知等)

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うこととなります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

(Sumangguni sa Pang-apat na Bahagi na pinamagatang “Pagpapahayag ng Nagawang Pagkakamali”).

7. Pakikinig sa Paliwanag ng Bata

Kung may kamalian o hindi maunawaan sa mga bagay na binasa ko ngayon, huwag kang mag-atubiling magsabi.

8. Sa Kasong Hindi Pipiliin ang Hakbanging Pagpigil at Pagkukop

Hindi ka ipadadala sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan.

Maaari kang umuwi sa iyong tirahan.

Subalit hindi ito nangangahulugang tapos na ang mga isinasagawang pamamaraan sa Hukuman.

Sa mga susunod na araw, maaaring ipatawag ka na naman para sa isang pagsusuri o pagdinig. Kinakailangang humarap ka sa hukuman sa araw na iyon.

9. Sa Kasong Pipiliin ang Hakbanging Pagpigil at Pagkukop (Pagpapahayag ng Kapasyahan at iba pa)

Ipadadala ka sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan.

Karaniwan, ang pinakamahabang panahon ng iyong pagpigil sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan ay apat na linggo. Sa ilang mga pagkakataon, maaaring pahabain ito hanggat sa walong linggo.

Sa loob ng panahong ito, maipapasailalim ka sa isang pang-sikolohikal na pagsusuri at iba pang eksaminasyon na isasagawa ng isang Espesyalista ng Tahanang Paurian ng mga Kabataan at ng Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya upang alamin kung mayroon mang kakulangan o suliranin ukol sa iyong pagkatao, kapaligiran, at iba pang mga bagay. Hangga’t maaari makipagtulungan ka at sumunod sa mga patakaran ukol dito.

Maaari din lamang pag-isipan at ipaliwanag sa Hukom sa pagkakataong dinidinig ang iyong kaso, sa iyong palagay, kung paano malulutasan ang anumang suliranin mo sa iyong pag-uugali, pamumuhay o iba pang mga bagay.

10. Pagpapaliwanag ng Abiso ng Pagpapaubaya sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan

Ipagbibigay-alam sa iyong tagapangalaga, tulad ng iyong ama o ina, na ipauubaya ka sa isang Tahanang Paurian ng mga Kabataan.

Kanino mo nais ipagbigay-alam ito?

Maaari lamang na ibigay mo sa akin ang pangalan at tirahan ng taong iyon at kung ano ang iyong kaugnayan sa kanya.

11. Pagpapaliwanag tungkol sa Kasunduan sa Vienna

(Maliban kung mayroong kasunduan ang mga bansang Hapon at Pilipinas ukol sa pagbibigay-alam.)

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第2 調査手続

1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

Kung nanaisin mo, batay sa Kasunduan sa Vienna ukol sa Kaugnayang Konsular, ipagbibigay-alam ang iyong pagkapigil sa Embahada o Konsulado ng iyong bansang nakatayo sa bansang Hapon.

Mangyayari lamang ito kung hindi pa nakapagbigay-alam ang Pulisya o Taga-usig.

Nais mo bang ipagbigay-alam ito?

Maaari kang magpadala ng sulat sa iyong Embahada o Konsuladao sa bansang Hapon basta't ang nilalaman nito ay hindi taliwas sa mga batas o iba pang patakaran ng bansang Hapon.

II. Pamamaraan ng Pagsusuri

1. Panimula

Ako si _____, ang Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya na siyang mamamahala sa iyong kaso.

Natanggap namin ang iyong kaso ng _____ mula sa Pamublikong Taga-usig (o sa Pulisya).

Sa araw na ito, nais kong malaman ang tungkol sa kasong ito, sa iyong pamumuhay hanggang sa kasalukuyan, at tungkol sa iyong pamilya at iba pang mga bagay.

Sa araw na ito, may isang tagapagsalin na itinalaga ng hukuman at nanumpang magsasalin nang buong katapatan.

Kung hindi mo nauunawaan ang aking mga katanugan, huwag kang mag-atubiling magsabi.

2. Pagtiyak sa Pangalan ng Bata at iba pang mga bagay

Ano ang iyong pangalan?

Kailan ka ipinanganak?

Ano ang iyong nasyonalidad?

Saan ka naninirahan sa bansang Hapon?

Ano ang iyong hanapbuhay?

3. Paliwanag ng mga Pamamaraan

Titiyakin sa Hukumang Pampamilya kung mayroon ka ngang pagkakamali.

Kung mayroon kang pagkakamali, pag-iisipan ang naging dahilan nito at ang pinakamabuting paraan upang hindi ito maulit, at kung anong uri ng nararapat na paggabay

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

at pagtuturo ang kinakailangan mo at pagkatapos ay pagpapasyahan ang pinaka-angkop na hakbangin para sa iyong kaso.

Sa araw na ito, nais kong pag-isipan nating dalawa ang naging sanhi ng iyong pagkakamali.

Ipagbibigay-alam ko sa Hukom ang mga bagay na narinig ko mula sa iyo.

Matapos pag-isipan ng Hukom ang mga ito, maggagawad siya ng kapasyahan ukol sa iyong kaso.

4. Paliwanag Tungkol sa Pagdinig

Ang pagdinig ay isang uri ng paglilitis.

Bilang prinsipyo, ang pagdinig ay hindi isinasagawa nang bukas sa publiko.

Sa pahintulot ng hukuman sa kasong ito, maaaring dumalo ang biktima at iba pang tao (batay sa kahilingang sinumite ng mga ito sa hukuman). Dapat unawain ng kinauukulan na ang kaphahintulatang binigay ng hukuman ay batay sa pagsasaalang-alang sa damdamin at pagnanais ng biktimang masaksi ang mga pangyayari ukol sa pagdinig ng kaso.

Ang dadalo ng pagdinig sa silid-hukuman, maliban sa Hukom ay ang Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya, ang Klerk ng Hukuman, ikaw, ang iyong Tagapangalaga, ang iyong Tagapaglingkod, at iba pang taong may pahintulot ng Hukuman.

Sa pagdinig, titiyakin ang iyong pangalan, araw ng kapanganakan, hanapbuhay, nasyonalidad, tirahan sa bansang Hapon at iba pa.

Sa pagdinig, ipaalam sa iyo ang kabuuan ng iyong pagkakamali at bibigyan ka ng pagkakataong magpaliwanag tungkol dito.

Maaari lamang na pag-isipan mo nang mabuti hanggang sa araw ng pagdinig ang mga naging sanhi ng iyong pagkakamali at ang magiging pamumuhay mo mula ngayon at iba pang mga bagay. (Bagama't napagmamasdan ng biktima at iba pang tao ang pagdinig, mangyaring ipahayag ang iyong kaisipan nang mahinahon.)

Maaari lamang na ipahayag mo nang may buong katapatan ang iyong mga iniisip habang dinidinig ang iyong kaso.

Kung mayroong mga puntong taliwas sa katotohan o hindi mo kayang tanggapin, sabihin mo ito sa pagkakataong iyon.

5. Pagpapaliwanag ng mga Hakbangin

Kasama sa mga hakbangin ng Hukumang Pampamilya kung saan ang bata ay maipapaubaya sa isang institusyon upang tumanggap ng gabay tungkol sa pamumuhay at iba pa, ay ang mga sumusunod: ang pagpapadala sa Repormatoryo para sa mga Kabataan,

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致とって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとってもらおうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

第3 審判手続

1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 黙秘権の告知

pagpapadala sa Tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan, pagpapadala sa Tahanan para sa Pagkalinga sa mga Kabataan.

Maaari ding mapasailalim ang bata sa isang pangugngupkop at pagsusubaybay mula sa isang Opisyal ng Probasyon o Opisyal ng Parol sa loob ng lipunan.

Maliban sa mga ito, mayroon ding tinatawag na pagpapadala ng kaso sa Pamublikong Taga-usig at pararaanin ito sa isang kriminal na paglilitis kung saan maaaring mapatawan ang bata ng kaparusahan ng pagmumulta at pagkakabilanggo na may kasamang sapilitang trabaho tulad ng kaso ng taong may gulang na.

Kung sa palagay naman ng Hukuman na sapat ang iyong pagsisisi sa nagawang pagkakamali at walang pangambang uulitin mo ito, maaaring isara na lamang ang iyong kaso nang walang isasagawa sa mga nabanggit na hakbangin.

Maaari ding tapusin ang iyong kaso nang walang isasagawang pagdinig.

Maliban dito, maaari ding maggawad ng pansamantalang hakbangin na tinatawag na pansamantalang pagsubok na pagsusubaybay.

Bago igawad ang panghuling hakbangin, mapapasasailalim ka sa pagsusubaybay ng isang nababagay na tao upang magabayan, o ikaw ay papauwiin sa iyong bahay para ipagpatuloy ang pangkaraniwang pamumuhay sa isang takdang panahon habang sinusubaybayan ang iyong pagkilos, pag-uugali at paraan ng pamumuhay. Matapos ang takdang panahon ng pagsusubaybay, sisimulan muli ang pagdinig ng iyong kaso at pagpapasyahan ang panghuling hakbangin para sa iyo.

Ngayon, kahit walang hakbanging isasagawa ang Hukumang Pampamilya, ikaw ay maaaring mautusang lisanin ang bansang Hapon batay sa pasya ng Kawanihan ng Imigrasyon.

III. Pamamaraan ng Pagdinig

1. Pagpapahayag ng Simula ng Pagdinig

Sisimulan na ngayon ang paglilitis ng kaso at pagpapasyahan ang hakbanging nauukol sa iyo.

Ang mga pamamamaraang isasagawa ngayong araw ay isasalin ng isang tagapagsaling hinirang ng hukuman at nanumpang magsasalin nang may buong katapatan.

Kung mayroon kang hindi mauunawaan sa aking mga katanungan, huwag kang mag-atubiling magsabi.

2. Pagtitiyak sa pangalan ng bata at iba pang mga bagay

Ano ang iyong pangalan?

Kailan ka ipinanganak?

Ano ang iyong nasyonalidad?

Saan ka naninirahan sa bansang Hapon?

Ano ang iyong hanapbuhay?

3. Pagpapahayag ng Karapatang Magsawalang-kibo

これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。

証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

Mula ngayon tatanungin kita ukol sa iba't ibang bagay nguni't hindi mo kinakailangang sagutin pilit ang mga ito. Kung ikaw ay magsasawalang-kibo, hindi ito kawalan para sa iyo.

Subalit huwag kang mag-atubiling magsalita kung mayroon kang nais sabihin.

Isaisip mo lamang na anuman ang iyong sasabihin ay maaaring gamiting ebidensya, ito man ay makakabuti o makakasama sa iyo.

4. Pagpapaliwanag sa Pagdalo ng Biktima at iba pang tao sa Pagdinig

Makapagdalo ang biktima at iba pang tao sa pagdinig ng kasong ito. Sa pahintulot ng hukuman sa kasong ito, maaaring dumalo ang biktima at iba pang tao. Dapat unawain ng kinauukulan na ang kapahintulutang binigay ng hukuman ay batay sa pagsasaalang-alang sa damdamin at pagnanais ng biktimang masaksi ang mga pangyayari ukol sa pagdinig ng kaso. Bagama't napagmamasdan ng biktima at iba pang tao ang pagdinig, mangyaring ipahayag ang iyong kaisipan nang mahinahon.

5. Pagpapahayag ng Nagawang Pagkakamali

Babasahin ko ngayon ang nilalaman ng kasong ipinadala mula sa Taga-usig (o Pulisya). Maaari lamang na makinig ka nang mabuti.

(Sumangguni sa Pang-apat na Bahagi na pinamagatang “Pagpapahayag ng Nagawang Pagkakamali”)

6. Pakikinig sa Paliwanag ng Bata

Kung may kamalian o hindi maunawaan tungkol sa mga bagay na binasa sa iyo ngayon, huwag kang mag-atubiling sabihin ito.

7. Pamamaraan ng Pagtatanong sa Testigo

Tatanungin ka bilang testigo para sa kasong ito mula ngayon.

Unang-una, maaari lamang na manumpa kang hindi ka magsisinungaling. Maaaring basahin lamang ang nilalaman ng kasulatan ng panunumpa.

Testigo: “Ayon sa aking budhi, ako ay magsasabi ng katotohanan, hinding-hindi ako magkukubli ng aking mga nalalaman, o magsasabi ng hindi totoo. Pinanunumpa ko ang mga nabanggit. Testigo: _____.”

Pagkatapos, maaari lamang na lagdaan at ilagay ang marka ng iyong daliri sa kasulatan ng panunumpa.

Hinihiling sa testigo na magsabi lamang ng katotohanan ayon sa kanyang pinanunpaan.

宣誓の上でその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

〔証人尋問の実施〕

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

8 聴取の終了

これで話を聴くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

〔第5（決定などの告知及びその説明）参照〕

12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、〇〇高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

Kung magbibigay ka ng isang pahayag na hindi totoo sa kabila ng iyong panunumpa, maaari kang makasuhan ng pagsisinungaling sa pagtetestigo.

Maaari kang tumanggap magtestigo kung may pangambang ang iyong sasabihin o dahil sa iyong pagpapahayag, maaaring ikaw o ang iyong mga kamag-anak ay masampahan ng kasong kriminal at mapatawan ng hatol na maysala.

Kung gayon, maaari lamang na sabihin mo ito.

(Pagpapatupad ng pagtatanong sa testigo)

Tapos na ang pagtatanong sa testigo.

Maraming salamat sa iyong pagtestigo.

8. Pagtatapos ng Pagdinig

Dito nagtatapos ang pagdinig na iyong kaso, at magpapahayag ang Hukom ng kanyang kapasyahan ukol sa hakbangin para sa iyong kaso. Kung mayroon kang nais na panghuling wikain, sabihin mo ito.

9. Pagpapahayag ng Kuro-kuro ng Tagasuring Opisyal

Tulad ng nakasaad sa kaukulang haligi ng sinumiteng pambatang kuwestyonaryo, wala ng karagdagang pahayag ang Tagasuring Opisyal.

10. Pagpapahayag ng Kuro-kuro ng Tagapaglingkod

Tulad na nakasaad sa kasulatan ng kanyang kuro-kuro, wala ng karagdagang pahayag ang Tagapaglingkod.

11. Pagpapahayag ng Kapasyahan at Pagpapaliwanag nito

Ngayon, ihahayag na ang hakbangin ukol sa iyong kaso.

(Sumangguni sa Panglimang Bahagi na pinamagatang “Pagpapahayag ng Kapasyahan at Pagpapaliwanag nito”)

12. Pagpapahayag ng Karapatang Mag-apela (sa kaso ng hakbanging pangangalaga)

Maaaring mag-apela ka o ang iyong legal na kinatawan o tagapaglingkod kung mayroon kayong pagtutol sa kapasyahang ito.

Kung mag-aapela, maaari lamang na magpadala ng kasulatang humihiling ng pag-aapela sa Mataas na Hukuman ng _____ sa pamamagitan ng Hukumang ito sa loob ng dalawang linggo.

Maaaring ipadala ang kasulatan ng paghiling sa pag-aapela sa pamamagitan ng pinuno o kinatawan ng isang institusyong tulad ng Repormatoryo para sa mga Kabataan.

13. Paliwanag tungkoll sa Kasunduan sa Vienna (sa kaso ng pagpapadala o pagbabalik ng bata sa Repormatoryo para sa mga Kabataan)

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第4 非行事実の告知

1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成○年5月10日午後1時23分頃、東京都○○区○○町1丁目5番12号所在の株式会社○○店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成○年7月21日午後9時30分頃、東京都○○区○○町5丁目3番4号所在の○○自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

4 傷害罪の例

「君は、平成○年1月15日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

{ Maliban kung mayroong kasunduan ang mga bansang Hapon at Pilipinas ukol sa pagbibigay-alam. }

Kung nanaisin mo, batay sa Kasunduan sa Vienna ukol sa Kaugnayang Konsular, ipagbibigay-alam ito sa Embahada o Konsulado ng iyong bansang nakatayo sa bansang Hapon.

Subalit isasagagawa lamang ito kung hindi pa ito naipagbibigay-alam hanggang sa kasalukuyan,.

Nais mo bang ipagbigay-alam ito?

Maaari kang magpadala ng sulat sa iyong Embahada o Konsulada basta't ang nilalaman nito ay hindi taliwas sa mga batas o iba pang patakaran ng bansang Hapon.

IV. Pagpapahayag ng Nagawang Pagkakamali

1. Halimbawa ng Kasong Pagnanakaw (Pagnanakaw sa Tindahan)

“Noong bandang 1:23 ng hapon ng ika-10 ng Mayo, taong _____, nagnakaw ka ng 5 piraso ng pluma (ang kabuuang halaga sa talaan ay ¥ 50,000) na nasa ilalim ng tagapamahalang si A, mula sa tindahan ng _____, Inc. sa 1-5-12 _____-cho, _____-ku, Tokyo.”

2. Halimbawa ng Kasong Pagnanakaw (Pagnanakaw ng Motorsiklo)

“Noong bandang 3:35 ng hapon ng ika-12 ng Oktubre, taong _____, nagnakaw ka ng isang primera-klaseng motorsiklo (_____ku A Blg. ____) (kalasukuyang halaga ay ¥ 150,000) na pag-aari ni A. sa may kalye sa 2-3-5 _____-cho, _____-ku, Tokyo.”

3. Halimbawa ng Kasong Pag-aangkin ng Nawalang Bagay at iba pa

“Noong bandang 9:30 ng gabi ng ika-21 ng Hulyo, taong _____ sa padarahan ng mga bisikleta sa 5-3-4 _____-cho, -_____ku, Tokyo, nakakita ka ng isang bisikletang iniwan sa nabanggit na lugar at pag-aari ni A (ang kasalukuyang halaga ay ¥ 6,000). Pinulot mo ito at kinuha ng may intensyong angkinin bilang iyong pansariling gamit.”

4. Halimbawa ng Kasong Pagpinsala sa Katawan

“Noong bandang 10:30 ng gabi ng ika-15 ng Enero, taong _____ sa may kalye sa 1-6-15 _____cho, _____-ku, Tokyo, nagsimula ang sagutan ninyo ni A dahil sa pagkakabangga niya sa iyong katawan. Nagalit ka at malakas mo siyang hinampas

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成○年6月13日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成○年7月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成○年1月31日午後10時30分頃、東京都○○区○○町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成○年10月21日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

nang 5 o 6 na ulit sa kanyang ulo sa pamamagitan ng iyong dalang isang piraso ng kahoy na ang haba ay humigit kumulang 50 sentimetro. Dahil doon, nagkaroon ng mga sugat ng pagkakagutay-gutay sa noo ni A na kinailangang gamutin nang humigit kumulang sa tatlong linggo.”

5. Halimbawa ng Kasong Pagnanakaw na may Kasamang Karahasan

“Dahil gipit ka sa pang-araw-araw na gastos, naisipan mong agawan ng pera ang isang nagdaraan. Noong bandang 10:30 ng gabi ng ika-13 ng Hunyo, taong _____, Pilit mong isinama ang isang naglalakad (18 taon gulang noon) sa may kalye sa 3-1-12 _____-cho, _____-ku, Tokyo na nagngangalang A sa isang malapit na iskinita, habang itinututok mo kay A ang dala mong patalim na gamit sa pag-akyat ng bundok, tinakot mo siya at sinabi mong “Kane dase! Kane dase!”. Matapos mong inilagay si A sa isang kalagayang di siya makalaban, ipinalabas mo sa kanya ang pag-aaari niyang ¥ 30,000 at inagaw mo ito mula sa kanya.”

6. Halimbawa ng Kasong Pagpatay ng Tao (unang halimbawa)

“Noong bandang 10:30 ng gabi ng ika-12 ng Hulyo, taong _____ sa silid bilang 1 ng Heiwa Jutaku sa 3-10-5 _____-cho, _____-ku, Tokyo, dahil pagod ka na sa pag-aalaga sa panganay mong anak na lalaki na si A (noong panahong iyon, isang buwan mula sa kapanganakan) at dumidilim na ang pananaw mo sa kinabukasan, bigla mong napagpasyahang patayin si A at sa pamamagitan ng iyong dalang tuwalya, sinakal mo si A sa kanyang leeg. Nang dahil dito, pinigil mo ang kanyang paghinga at pinatay mo siya.”

7. Halimbawa ng Kasong Pagpatay ng Tao (pangalawang halimbawa)

“Noong bandang 10:30 ng gabi ng ika-31 ng Enero, taong _____ sa may kalye sa 6-3-4 _____-machi, _____-ku, Tokyo, sinalakay ka ni A (19 tong gulang noon) sa pamamagitan ng ilang ulit na pagsipa niya sa iyong tiyan at iba pang bahagi ng iyong katawan sa dahilang nasagi mo raw siya sa katawan. Sa biglang silakbo ng galit, ginamit mo ang iyong dalang patalim (na ang haba ng talim ay 15 sentimetro), sinaksak mo si A nang ilang ulit sa kanyang kanang dibdib at tiyan na may hangaring patayin siya. Nagdulot ka ng sugat ng pagkakasaksak sa kanyang kanang dibdib, at di nagtagal sa lugar ding iyon, dahil sa pag-agos ng maraming dugo mula sa sugat ng pagkakasaksak, napatay mo siya.”

8. Halimbawa ng Kasong Paglabag sa Batas sa Pagkontrol ng Istimulanteng Gamot

“Noong bandang 10:30 ng gabi na ika-21 ng Oktubre, taong _____, sa silid bilang 2 ng Heiwa Jutaku sa 1-2-8 _____-cho, _____-ku, Tokyo bagama’t wala kang bukod

射し、覚せい剤を使用したものです。」

9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成○年5月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して○○区○○町方面から○○区○○町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成○年10月5日午後10時30分頃、東京都○○区○○町5丁目9番5号○○町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成○年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都○○区○○町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

13 売春防止法違反の例

tanging pahintulot ng batas, tinuruan mo ang iyong sarili ng istimulanteng gamot - likidong may bahagyang naglalaman ng phenylmethyl-aminopropane. Gumamit ka ng istimulanteng gamot.”

9. Halimbawa ng kasong Paglabag sa Batas hinggil sa Pagkontrol ng Lason at mga Mapanganib na Sangkap

“Noong bandang 10:30 ng gabi ng ika-12 ng Mayo, taong _____, sa isang kalye sa 2-3-5 _____-cho, _____-ku, Tokyo, walang pahintulot na humithit ka ng toluene na itinuturing sa isang Kautusan ng Kabinete na isang lason at malakas na bagay na nakakapampasigla, nakakapagpalaro ng guni-guni o nakapamamanhid ng tao.”

10. Halimbawa ng Kasong Pagpinsala sa Katawan Sanhi ng Kapabayaang sa Pagmamaneho

“Noong mga 3:35 ng hapon ng ika-12 ng Oktubre, taong _____, nagmamaneho ka ng isang pangkaraniwang kotse sa isang kalye sa 3-7-8, _____-cho, _____-ku, Tokyo, mula sa direksyon ng _____-cho, _____-ku, patungong _____-cho, _____-ku, sa bilis na humigit kumulang na 80 kilometro kada oras, at dahil sa pakurba nang pakaliwa ang lugar bago doon, mahirap makita ang nasa harapan. Ang nagmamaneho ng kotse ay may katungkulang iwasan ang pagkakaroon ng aksidente sa pamamagitan ng tiyak na pagkontrola sa manibela at preno upang mabawasan ang bilis ng sasakyan kapag hinihingi ng pagkakataon para sa kaligtasan. Subalit hindi mo sinunod ang iyong tungkulin at ipinagpatuloy mo ang pagpapatakbo sa parehong bilis, at tuloy hindi mo nakontrola nang mabuti ang manibela at dahil sa iyong kapabayaang, nakarating ang iyong sasakyan sa kasalubong na daan kung saan tumatakbo naman ang isang pangkaraniwang sasakyan na minamaneho ni A (21 na taong gulang noon). Nabangga ang kanang harap ng iyong sasakyan sa harap ng kanyang sasakyan na nagdulot ng pinsala ng pagkabali ng buto sa kanang hita ni A, na nangailangang ipagamot nang humigit kumulang sa dalawang buwan bago ito lubusang gumaling.”

11. Halimbawa ng Kasong Paglabag sa Batas hinggil sa Trapikong Panlansangan (Pagmamaneho nang Walang Lisensya)

“Noong bandang 10:30 ng gabi ng ika-5 ng Oktubre, taong _____, nagmaneho ka ng motorsiklo sa bandang krosing sa _____-cho sa Pambansang Lansangan Bilang _____ sa 5-9-5 _____-cho, _____-ku, Tokyo habang wala ka namang tinanggap ng lisensyang magmaneho mula sa Komite ng Pamublikong Kaligtasan.”

12. Halimbawa ng Kasong Paglabag sa Batas hinggil sa Trapikong Panlansangan (Pagmamaneho nang Sobrang Tulin)

“Noong bandang 10:30 ng gabi ng ika-13 ng Pebrero, taong _____, sa isang kalye sa may bandang 2-5-7, _____-cho, _____-ku, Tokyo, kung saan may karatula ang Komite ng Pamublikong Kaligtasan na nagsasaad na ang pinakamabilis na pagpapatakbo ng sasakyan ay 40 kilometro kada oras, nagpatakbo ka ng isang pangkaraniwang kotse ng 80 kilometro kada oras, labis sa nakatakdang pinakamabilis na tulin.”

13. Halimbawa ng Kasong Paglabag sa Batas Laban sa Prostitusyon

「君は、売春をする目的で、平成○年3月10日午後6時35分頃、東京都○○区○○町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、○○国国籍を有する外国人で、平成○年6月12日、○○国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったものですが、在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成○年6月9日まで、東京都○○区○○町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

15 ぐ犯の例

「君は、○○国の養父母のもとで育ち、平成○年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都○○区○○町2丁目3番8号所在の、暴力団○○組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

第5 決定などの告知及びその説明

1 保護観察決定などの告知及びその説明

(1) 保護観察決定の告知及びその説明

“Noong bandang 6:35 ng gabi ng ika-10 ng Marso, taong _____, sa hangaring magbenta ng aliw, sa may kalye sa 1-1-18, _____-cho, _____-ku, Tokyo, niyaya mo si A na dumadaan sa lugar na iyon sa pamamagitan ng pagsabi, “Asobimase ka, shacho. Hotel ii ¥ 30,000”. Inakit mo ang isang taong maging katambal sa prostitusyon sa isang pamamaraang lantad sa paningin ng publiko.”

14. Halimbawa ng Paglabag sa Batas sa Pagkontrol ng Imigrasyon at Pagkilala sa mga Manlilikas

“Ikaw ay isang dayuhang mamamayan ng bansang _____. Noong ika-12 ng Hunyo, taong _____, may pasaporte kang ipinagkaloob ng pamahalaan ng bansang iyon, lumapag ka sa Bagong Pandaigdigang Paliparan ng Tokyo sa Narita-shi, Chiba-ken at pumasok sa bansang Hapon. Samantalang pinayagang manatili ka doon hanggang ika-27 ng Hunyo ng nasabing taon, hindi mo nilisan ang bansang Hapon hanggang paglipas ng araw na iyon. Hanggang ika-9 ng Hunyo taong _____, ikaw ay nanirahan sa 3-5-12, _____-cho, _____-ku, Tokyo at namalagi ka sa bansang Hapon nang labag sa batas pagkalampas ng pinahintulutang panahon ng iyong pagtigil.”

15. Halimbawa ng Kasong May Potensyal o Kakayahang Makalabag sa Batas

“Ikaw ay pinalaki ng ama at inang umampon sa iyo sa bansang _____. Noong bandang ika-20 ng Abril, taong _____, dumating ka sa bansang Hapon upang maghanap-buhay. Noong mga unang araw ng Mayo ng nasabing taon, nagsimula kang magtrabaho bilang mananayaw sa isang lugar na nagpapalabas ng paghuhubad. Pagkatapos noon, ikaw ay nagpalipat-lipat sa mga parehong uri ng lugar. Sa kasalukuyan, ikaw ay nananatili sa isang apartment sa 2-3-8, _____-cho, _____-ku, Tokyo ni A na isang pangunahing miyembro ng isang grupo ng masasamang loob, _____-gumi at na may kriminal na rekord ng pagkaka-aresto at pagkakaparusa dahil sa paglabag sa Batas sa Pagkontrol ng Istimulanteng Gamot. Nag-aaksaya ka ng panahong namumuhay kasama ni A at ang mga kasamahan nito. Pagkatapos, nakikipagtalik ka sa dose-dosenang kostomer ng palabasan ng paghuhubad at maraming miyembro ng nasabing grupo ng masasamang loob at kapalit nito tumatanggap ka ng perang panggastos. Kasama ng iyong paglabas-pasok sa mga malalawang lugar, nakikipag-ugnayan ka pa sa mga taong may kinalaman sa krimen. Batay sa iyong pagkatao at ganoong kapaligiran, may panganib na balang araw, lalabag ka sa Batas laban sa Prostitusyon o di kaya sa Batas sa Pagkontrol ng Istimulanteng Gamot.

V. Pagpapahayag ng mga Kapasyahan at ang Pagpapaliwanag nito.

- 1 Pagpapahayag at kaukulang paliwanag sa kapasyahan ng probasyon at pagsusubaybay
- (1) Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag sa kapasyahan ng probasyon at pagsusubaybay.

君を〇〇保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることとなります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることとなります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることとなります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第〇種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることとなります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

Maipapasailalim ka sa programang probasyon at pagsusubaybay sa Tanggapang Probasyon ng _____.

Sa ilalim ng programang probasyon at pagsusubaybay, tatanggap ka ng gabay sa iyong pamumuhay mula sa isang Opisyal ng Probasyon o ng Boluntaryong Opisyal ng Probasyon.

(2) Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag ng rekomendasyong mapasailalim sa isang panandaliang programang probasyon at pagsusubaybay ukol sa trapiko.

Maipapasailalim ka sa programang probasyon at pagsusubaybay ukol sa trapiko. Irerekomenda ng hukuman sa Tanggapan ng Probasyon na maganap at matapos ang programang ito sa loob ng isang maikling panahon.

Sa ilalim ng programang probasyon at pagsusubaybay ng mga taong lumabag sa batas ng trapiko, maliban sa pagtanggap ng gabay mula sa Opisyal ng Probasyon, kukuha ka ng kurso tungkol sa trapiko.

2 Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag sa pagpapadala sa tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan o sa Tahanan para sa Pagkalinga ng mga Kabataan

Ipadadala ka sa tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan (o sa Tahanan para sa Pagkalinga ng mga Kabataan).

Ipapasok ka sa Tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan (o sa Tahanan para sa Pagkalinga ng mga Kabataan) at tatanggap ng gabay tungkol sa pamumuhay at iba pang bagay mula sa kawani ng mga nasabing institusyon.

3 Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag sa kapasyahang pagpapadala sa Repormatoryo para sa mga Kabataan

(1) Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag sa kapasyahang pagpapadala sa Repormatoryo para sa mga Kabataan.

Ipadadala ka sa _____ Uri ng Repormatoryo para sa mga Kabataan.

Ipaubaya ka sa Repormatoryo para sa mga Kabataan at tatanggap ng edukasyong pang-koreksiyonal tulad ng pamamatnubay ukol sa pamumuhay.

(2) Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag sa Rekomendadong Programa

1) Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag tungkol sa panandaliang programa

Irerekomenda ng hukuman sa Repormatoryo para sa Mga Kabataan na angkop na isagawa ang programa sa loob ng isang maikling panahon.

2) Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag tungkol sa isang sadyang panandaliang programa

Irerekomenda ng hukuman sa Repormatoryo para sa Mga Kabataan na angkop na isagawa ang programa sa loob ng isang sadyang maikling panahon.

Bukod doon, hangga't maaari, paggagawa sa iyo ang isang plano na dapat maging isang bahagi ng iyong pangkaraniwang gawain sa araw-araw at ipapatupad mo ito, at irerekomenda rin na tumanggap ka ng liberal na edukasyon.

4 Pagpapahayag ng kapasyahang di-paggawad ng hakbangin

君を保護処分につさないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長（〇〇知事）に送致します。

6 検察官送致決定の告知

君の事件を〇〇地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・、②・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担させることにします。

Hindi ka mapapasailalim sa anumang hakbangin ng pagkukop (o pang-edukasyon).

5 Pagpapahayag ng kapasyahang pagpapadala ng kaso sa Punong Panlalawigan o sa Pinuno ng Tanggapan ng Pamamatnubay ng Bata

Ipadadala ang iyong kaso sa pinuno ng Tanggapan ng Pamamatnubay ng Bata ng _____ (o sa Punong Panlalawigan ng Prepektura ng _____.)

6 Pagpapahayag ng kapasyahang pagpapadala ng kaso sa Taga-usig

Ipadadala ang iyong kaso sa Taga-usig ng Pandistritong Opisina ng Pampublikong Taga-usig ng _____.

7 Pagpapahayag ng kapasyahang nagpapahintulot ng sapilitang hakbangin

Ipadadala ang iyong kaso sa Pinuno ng Tanggapan ng Pamamatnubay ng Bata.

Pinahihintulutan ang Pinuno ng Tanggapan ng Pamamatnubay ng Bata ng _____ na magsagawa ng mga sapilitang hakbangin upang takdahan ang iyong kalayaan sa loob ng _____ taon simula sa ika__ (araw) ng _____ (buwan), taong _____, ngunit hindi lalagpas ito sa kabuuan ng _____ na araw.

8 Pagpapahayag ng kapasyahang hindi nagpapahintulot ng sapilitang hakbangin

Hindi pinahihintulutan ang Pinuno ng Tanggapan ng Pamamatnubay ng Bata ng _____ na gumawa ng sapilitang hakbangin na nauukol sa iyo.

9 Pagpapahayag at kaukulang pagpapaliwanag ng kapasyahang isagawa ang pagsubok na pagsusubaybay

Ikaw ay maipasasailalim sa pamamatnubay ng Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya na si _____.

Bago magpasya ang hukuman ukol sa pang-huling hakbangin para sa iyo, ipauubaya ka kay _____ upang tumanggap ng paggabay (habang pinahihintulutan kang umuwi sa iyong tirahan at mamuhay nang pangkaraniwan sa loob ng lipunan), at pagmamasdan ang iyong pagkilos at kalagayan ng pamumuhay, at pag-aaralan ang mga bagay na ito, at pagkaraan ng nakatakdang panahon, muling isasagawa ang pagdinig ng iyong kaso at pagpapasyahan ang pang-huling hakbanging nauukol sa iyo.

Habang nasa ilalim ka ng pagsubok na pagsusubaybay, bibigyan ka ng tagubiling sundin ang ilang panununtunan. (Una... Pangalawa...)

10 Pagpapahayag ng kapasyahang pag-kumpiska

Kinukumpisa ang nasamsam na _____.

11 Pagpapahag ng kapasyahang pagpapabayad ng gastusin sa litigasyon

Ipinabayad ka ng halagang _____ yen bilang gastos panglitigasyon ukol sa pagtatanggol ng iyong kasong inatasan ng hukuman bago ipinadala ito sa Hukumang Pampamilya.

12 戻し収容決定の告知

君を第○種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成○年○月○日まで第○種少年院に継続して収容します。

14 保護処分取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致，児童養護施設送致，少年院送致）
決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

〔前記 2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）
及び 3（少年院送致決定などの告知及びその説明）参照〕

12 Pagpapahayag ng kapasyahang pagpapabalik

Ibabalik ka sa _____ Uri ng Repormatoryo para sa mga Kabataan sa _____.

13 Pagpapahayag ng kapasyahang pagpapatuloy sa pagpapaubaya

Patuloy kang ipauubaya sa _____ Uri ng Repormatoryo para sa mga Kabataan sa _____ hanggang sa ika-__ (araw) ng _____ (buwan), taong _____.

14 Pagpapahayag ng kapasyahang pagsasawalang-bisa ng mga hakbanging pagkukupkop at pagsubaybay

Ipinapawalang-bisa ang pagkukupkop at pagsusubaybay sa iyo (pagpapadala sa Tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan o sa Tahanan para sa Pagkalinga ng mga Kabataan o sa Repormatoryo para sa mga Kabataan).

15 Pagpapahayag ng kapasyahang pagpapadala sa institusyon

{ Sumangguni sa nakasaad sa bilang 2 (Pagpapahayag ng kapasyahan ukol sa pagpapadala sa Tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan o sa Tahanan para sa Pagkalinga ng mga Kabataan at kaukulang pagpapaliwanag ukol sa mga ito) at sa bilang 3 (Pagpapahayag ng kapasyahan ukol sa pagpapadala sa Repormatoryo para sa mga Kabataan at kaukulang paliwanag ukol dito)}

第6 書式例

書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

少年と保護者の皆さんへ

- この度、少年は、（ ）保護事件について（ ）少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
 - 観護措置
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
 - 調査
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
 - 審判
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。
審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めるときは、取り調べます。）。
- 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - 保護観察
通常の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - 試験観察
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
- 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
- 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

Kasulatan 1. Para sa bata at sa kanyang tagapangalaga (Para sa kasong may detensyon)

Para sa bata at sa kanyang tagapangalaga

- Hinggil sa kasong pangangalaga ng _____, napagpasyahang ipapadala ang bata sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan sa _____. Mula ngayon, bilang isang pangkalahatang patakaran, ang mga hakbanging isasagawa ukol sa bata ay pagpapasyahan sa pamamagitan ng sumusunod na pamamaraan:
 - Hakbanging Pagpigil at Pagkukop
Kupkupin ang bata sa Tahanag Paurian ng mga Kabataan at sabay na isasagawa ang pagsusuri ng kalagayang pisikal at kaisipan ng bata. Karaniwan, ang pinakamahabang panahon ng pagtigil ay apat na linggo. Ngayon, kung kinakailangan, maaaring baguhin ito hanggang sa pinakamahabang panahon ng walong linggo.
 - Pagsusuri
Kasabay ng pagsusuri na nakasaad sa (1), ang Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya ay mag-sasagawa rin ng sariling pagsusuri tungkol sa bata. Ang layunin nito ay upang alamin hindi lamang ang dahilan ng masamang gawi, pagkatao at pagkilos ng bata, kundi pati na rin ang kapaligiran na tulad ng ugnayang pampamilya, eskuwelahan, trabaho at pakikitungo sa kaibigan para maging malinaw ang nararapat at pinakaepektibong hakbanging isasagawa para sa bata.
 - Pagdinig ng kaso
Pagkatapos ng pagsusuri na nakasaad sa (2), sisimulan ang pagdinig ng kaso. Ang pagdinig ay isang uri ng paglilitis subalit hindi ito bukas sa publiko. Ang bata at ang tagapangalaga (at tagapaglingkod, kung mayroon) ay dadalo ng pagdinig sa silid-hukuman. (Maaari ring dumalo ang guro, Boluntaryong Opisyal ng Probasyon, Taga-usig at iba pa).
Sa pagdinig, lilitisin kung gumawa nga ang bata ng pagkakamali o hindi at kung may suliranin nauukol sa kanyang pagkatao at kapaligiran nito. Ang hukom ay magbibigay ng kapasyahan matapos sumangguni sa resulta o kinalabasan ng pagsusuri ng Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya. Kung may katanungan ang hukom o iba pa na taliwas sa katotohanan o hindi kayang tanggapin ng bata, sabihin lamang ito. Maaari ding hilingin kung may testigo o ebidensyang nais ipasiyasat (ito ay iutos ng hukom kung sa kanyang palagay kinakailangan ito).
- Ang mga hakbanging pagpapasyahan ng Hukumang Pampamilya ay ang mga sumusunod:
 - Pagkukop at Pagsusubaybay
HaHabang patuloy na mamumuhay nang pangkaraniwan ang bata sa loob ng lipunan, siya ay tatanggap ng gabay at pagsusubaybay mula sa isang Opisyal ng Probasyon at iba pa ng Tanggapan ng Probasyon para sa ikabubuti at pagpapanibagong-buhay ng bata.
 - Pagpapadala ng bata sa Tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan o sa Tahanan para sa Pagkalinga ng mga Kabataan
Ipaubaya ang bata sa mga nasabing institusyon at isasagawa ang kinakailangang paggabay sa pangan- galaga.
 - Pagpapadala ng bata sa Repormatoryo para sa mga Kabataan
Ipaubaya ang bata sa Repormatoryo para sa mga Kabataan at isasagawa ang edukasyong pang- koreksyonal.
 - Pagpapadala ng bata sa Pampublikong Taga-usig
Ipadala ang kaso ng bata sa isang Taga-usig upang ipasailalim ito sa kriminal na paglilitis ayon sa mga pamamaraang isinasagawa para sa mga taong nasa wastong gulang.
 - Hindi paggawad ng anumang hakbanging
Ito ay isasagawa kung walang ginawang pagkakamali ang bata o di kaya may nagawa mang pagkaka- mali, hindi ito ganoon kabigat upang gawaran ng anumang hakbanging.
 - Pansamantalang Pagsubok ng Pagsusubaybay
Susubaybayan ang pagkilos at pag-uugali ng bata sa loob ng itinakdang panahon upang makapagpasya mula sa isa sa mga panghuling hakbanging nakasaad sa (1) hanggang (5). Sa loob ng panahong ito, maaaring ipasok ang bata sa isang pribadong institusyon upang siya ay mapatnubayan (pagpapaubaya sa pamamatnubay ng bata).
- May mga karapatan ang bata at ang kanyang tagapangalaga tulad ng mga sumusunod:
 - Karapatang humirang ng Tagapaglingkod
Maaaring humiling ng tagapaglingkod ang bata at ang kanyang tagapangalaga. Ang tagapaglingkod ay katumbas ng tagapagtanggol sa isang kasong kriminal at nakikipagtulungan sa pagdinig ng Hukuman. Subalit hindi lamang tagapagtanggol, maaari ding maging tagapaglingkod ang tagapangalaga o sino mang karaniwang tao kung ito ay may pahintulot ng hukuman.
 - Karapatang magsawalang-kibo
Hindi kinakailangang pilit sagutin ng bata ang mga katanungan ng Hukom at ng iba pa. Nguni't dahil sumasangguni ang hukuman sa mga pahayag ng bata sa paggawad ng kapasyahan ukol sa nararapat na hakbanging sa kaso, maaari lamang na ipahayag ng bata nang wasto ang mga nais niyang sabihin.
 - Karapatang magsampa ng apela
Kung hindi masang-ayunan ang nasasaad na mga kapasyahan sa (1) hanggang (3) sa talatang 2, ang ba- ta, ang kanyang legal na kinatawan o tagapaglingkod ay maaaring magsampa ng apela sa Mataas na Hukuman sa loob ng dalawang linggo.
- Bukod sa nakasaad sa itaas at kung may mga bagay na hindi maunawaan, maaaring sumangguni sa Klerk ng Hukuman o sa Tagasuring Opisyal na may kinalaman sa kaso.

Petsa: Ika-____(araw) ng _____(buwan), ____ (taon)

Sangay ng _____ng Hukumang Pampamilya ng _____

書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のいかない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - （1）保護観察
通常の世界生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - （2）児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - （3）少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - （4）検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - （5）不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - （6）試験観察
（1）から（5）までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - （1）付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - （2）黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - （3）不服申立書
2の（1）から（3）までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

Kasulatan 2. Para sa bata at sa kanyang tagapangalaga (Para sa kasong walang detensyon)

Para sa bata at sa kanyang tagapangalaga

1. Hinggil sa kasong pangangalaga ng _____, napagpsayahang ang bata ay iharap sa isang pagdinig ng kanyang kaso sa Hukumang Pampamilya

Ang pagdinig ay isang uri ng paglilitis subalit hindi ito bukas sa publiko. Ang bata at ang kanyang tagapangalaga (at tagapaglingkod kung mayroon) ay dadalo ng pagdinig sa silid-hukuman. (Maaari ding dumalo ang guro, Boluntaryong Opisyal ng Probasyon, Taga-usig at iba pa).

Sa pagdinig, lilitisin kung ang bata ay gumawa ng pagkakamali o hindi, at kung may suliranin ukol sa pagkatao at kapaligiran nito. Ang hukom ay magbibigay ng kapasyahan matapos sumangguni sa resulta ng pagsusuri ng Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya. Kung may katanungan ang hukom o iba pa na taliwas sa kator-tohanan o hindi matanggap ng bata, sabihin lamang ito. Maaari ding hilingin kung may testigo o edbidensyang nais ipasiyasat (ito ay iuutos ng hukom kung sa kanyang palagay kinakailangan ito).

2. Ang mga hakbanging pagpapasyahan ng Hukumang Pampamilya ay ang mga sumusunod:
 - (1) Pansamantalang pagkukop at pagsusubaybay
Habang patuloy na mamumuhay nang karaniwan ang bata sa loob ng lipunan, siya ay tatanggap ng gabay at pagsusubaybay mula sa isang Opisyal ng Probasyon at iba pa ng Tanggapan ng Probasyon para sa pagpapabuti at pagpapanibagong-buhay ng bata.
 - (2) Pagpapadala ng bata sa Tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan o sa Tahanan para sa Pagkalinga ng mga Kabataan
Ang bata ay ipapaubaya sa mga institusyong ito at isasagawa ang kinakailangang paggabay sa pangangalaga.
 - (3) Pagpapadala ng bata sa Repormatoryo para sa mga Kabataan
Ang bata ay ipauubaya sa Repormatoryo para sa mga Kabataan at isasagawa ang edukasyong pang-koreksyonal.
 - (4) Pagpapadala ng bata sa Pampublikong Taga-usig
Ipapadala ang kaso ng bata sa isang Taga-usig upang ipasailalim ito sa kriminal na paglilitis ayon sa mga pamamaraang isinasagawa para sa mga taong nasa wastong gulang.
 - (5) Hindi paggawad ng anumang hakbangin
Ito ay isasagawa kung ang bata ay walang ginawang pagkakamali o kahit may nagawa mang pagkakamali, hindi ito ganoon kabigat upang gawaran ng anumang hakbangin.
 - (6) Pansamantalang Pagsubok ng Pagsusubaybay
Susubaybayan ang pagkilos at pag-uugali ng bata sa loob ng itinakdang panahon upang makapagpasya mula sa isa sa mga panghuling hakbanging nakasaad sa (1) hanggang (5). Sa loob ng panahong ito, maaaring ipasok ang bata sa isang pribadong instituyon upang siya ay mapatnubayan (pagpapaubaya sa pamamatnubay ng bata).
3. May mga karapatan ang bata at ang kanyang tagapangalaga tulad ng mga sumusunod:
 - (1) Karapatang humirang ng Tagapaglingkod
Maaaring humiling ng tagapaglingkod ang bata at ang kanyang tagapangalaga. Ang tagapaglingkod ay katumbas ng tagapagtanggol sa isang kasong kriminal at nakikipagtulungan sa pagdinig ng Hukuman. Subalit hindi lamang tagapagtanggol, maaari ding maging tagapaglingkod ang tagapangalaga o sino mang karaniwang tao kung ito ay may pahintulot ng hukuman.
 - (2) Karapatang magsawalang-kibo
Hindi kinakailangang pilit sagutin ng bata ang mga katanungan ng Hukom at ng iba pa. Ngunit dahil sumasangguni ang hukuman sa mga pahayag ng bata sa paggawad ng kapasyahan ukol sa nararapat na hakbangin sa kaso, maaari lamang na ipahayag ng bata nang wasto ang mga nais niyang sabihin.
 - (3) Karapatang magsampa ng apela
Kung hindi masang-ayunan ang nasasaad na mga kapasyahan sa (1) hanggang (3) sa talatang 2, ang bata, ang kanyang legal na kinatawan o tagapaglingkod ay maaaring magsampa ng apela sa Mataas na Hukuman sa loob ng dalawang linggo.
4. Bukod sa nakasaad sa itaas at kung may mga bagay na hindi naunawaan, maaaring sumangguni sa Klerk ng Hukuman o sa Tagasuring Opisyal na may kinalaman sa kaso.

Petsa: Ika-___ (araw) ng _____ (buwan), ___ (taon)

Sangay ng _____ ng Hukumang Pampamilya ng _____

書式 3 審判期日通知書

平成 年 第 少年 第 号	保護事件
<p style="text-align: center;"><u>審判期日通知書</u></p> <p>少年 <u> </u> 殿</p> <p>保護者 <u> </u> 殿</p> <p>上記少年に対する保護事件の審判が開かれることになりましたか ら、少年と保護者の方は一緒にこの書面を持って、</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日 午前 午後 時 分</p> <hr/> <p>に当裁判所に出頭してください。</p> <p>(注意) この期日に出頭できないときは、その理由を詳しく書いた書面を必ず下記 裁判所書記官あて至急送ってください。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁判所書記官</p>	(備考)
	<p>家庭裁判所</p> <p>電話 () (代表) 内線 番</p>

Kasulatan 3. Pabatid sa Araw ng Pag-dinig

Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ___ Kaso ng Pangan-
galaga

PABATID UKOL SA ARAW NG PAG-DINIG

Para sa batang si: _____

Para sa Tagapangalaga: _____

Sisimulan na ang pagdinig hinggil sa kaso ng pangangalaga ng nabanggit na bata. Maaari lamang na humarap ang bata at ang kanyang tagapangalaga sa Hukumang ito, dala ang patalastas na ito sa ganap na (oras) ng umaga/hapon sa ika- _____ (araw) ng (buwan), _____ (taon).

Paunawa: Kung hindi makakaharap sa araw na ito, kinakailangang magpadala agad-agad sa Klerk ng Hukuman na ang pangalan ay nakasulat sa ibabang kasulatang nagpapaliwanag ng dahilan sa hindi nila pagdalo sa pagdinig.

Petsa: Ika-____ (araw) ng _____ (buwan), ____ (taon)

Hukumang Pampamilya ng _____

Klerk ng Hukuman _____

(Mga tala)

Hukumang Pampamilya ng _____

Telepono:

Lokal:

書式 4 呼出状

平成 年 少年第 号

呼 出 状

少年 殿

保護者 殿

少年

年 月 日生

住居

上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 午前 時行います
ので に出頭して下さい。

なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出して下さい。
2 病气その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡して下さい。

Kasulatan 4. Pabatid sa Araw ng Pag-dinig
Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ____

ABISO

Para sa batang si: _____

Para sa Tagapangalaga: _____

Pangalan ng bata:

Petsa ng kapanganakan: Ika-__ ng _____, taong ____

Tirahan:

Dahil isasaganap na ang pagdinig sa kaso ng pangangalaga sa nabanggit na bata, maaari lamang na humarap kayo sa _____ (lugar) sa ganap na _____ (oras) ng umaga/hapon sa ika- ____ (araw) ng _____ (buwan), _____ (taon).

Kung walang makatwirang dahilan ang inyong di pag-harap at

hindi ninyo susundin ang abisong ito, maaaring maglabas ang hukuman ng kautusang samahan kayo at dalhin sa na-katakadang silid-hukuman at petsa.

Petsa: Ika-__ (araw) ng _____ (buwan), ____ (taon)

Hukumang Pampamilya ng _____

Hukom _____

Paunawa:

1. Sa araw na ito, dalhin ang inyong panglagda at ipakita ang abisong ito sa Tanggapan ng Klerk ng Hukumang ito.
2. Kung sakaling hindi makadalo sa pagdinig dahil sa karamdaman o iba pang bagay, maaari lamang ipagbigay-alam ito sa Tanggapan ng Klerk ng Hukuman sa pamamagitan ng telepono o sulat.

書式 5 呼出状 (調査)

平成 年 第 号 事件 少年 年 月 日 少年 保護者	<h2 style="margin: 0;">呼 出 状</h2> <p style="margin: 10px 0 0 40px;">少年 年 月 日 時 分</p> <p style="margin: 0 0 0 40px;">午前 午後</p> <p style="margin: 10px 0 0 40px;">家庭裁判所 階 少年調査官室に出頭してください。</p> <p style="margin: 20px 0 0 40px;">平成 年 月 日</p> <h3 style="margin: 0;">家庭裁判所</h3> <p style="margin: 10px 0 0 40px;">家庭裁判所調査官</p>	(備考) 1 平成 年 月 警察署調べの件です。 2 少年又は保護者が、病气、不在等でやむを得ず出頭できない場合は、その旨を担当調査官に連絡してください。 3 当日、 を必ず持参してください。 家庭裁判所 電 話 () (代表) 内 線 番
--------------------------------------	--	---

Kasulatan Bilang 5. Abiso (para sa pagsusuri)

Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ____

ABISO

Para sa batang si: _____

Para sa Tagapangalaga: _____

Dahil sa isasagawa ang pagsusuri hinggil sa pangangalaga sa nabanggit na bata, maaari lamang na humarap ang bata at ang kanyang tagapangalaga, dala ang abisong ito sa Tanggapan ng Tagasuring Opisyal para sa mga Kabataan sa ika-____ palapag ng Hukumang Pampamilya ng _____ sa ganap na _____ (oras) ng umaga/hapon sa ika-____ (araw) ng _____ (buwan), _____ (taon).

Petsa: Ika-____ (araw) ng _____ (buwan), _____ (taon)

Hukumang Pampamilya _____

Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya _____

Paunawa:

1. Ang kasong ito ay sinayasat ng Himpilan ng Pulisya ng _____ noong ika-____ ng _____ 20__.
2. Kung ang bata o ang kanyang tagapangalaga ay hindi makakadalo dahil sa di-maiwasang pangyayari tulad ng karamdaman o wala sila sa raw na iyon, maaari lamang ipagbigay alam ito sa Tagasuring Opisyal na may kinalaman sa kasong ito.
3. Kinakailangang magdala ng _____ sa araw na ito.

Hukumang Pampamilya ng _____

Telepono:

Lokal:

書式 6 同行状（緊急）

平成 年 (少) 第 号	執行指揮印
<h2 style="margin: 0;">同行状（緊急）</h2>	
少年 _____ 年 _____ 月 _____ 日生	
住居 _____	
<p>上記少年の _____ 保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。</p> <p style="text-align: center;">有効期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで</p> <p style="text-align: center;">この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁 判 官</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(審判に付すべき事由) _____ 別紙記載のとおり (緊急同行状を発付する理由) _____ 別紙記載のとおり (適条) _____ 少年法 12 条 1 項 (参考)</p> <p>1 予想される少年の立ち回り先 _____</p> <p>2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付</p>	
執行した日時	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分
執行した場所	
執行することができなかったときはその理由	_____
所 属 ・ 官 職	氏名 _____ 印 _____
同行された日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分	
裁判所書記官	

Kasulatang Bilang 6. Kautusan para sa Pagsundo (Biglaan)

<p>Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ____</p>	<p>Selyo ng Nagpapatupad ng Kautusan</p>
<h3><u>KAUTUSAN UKOL SA PAGSUNDO</u> (BIGLAAN)</h3>	
<p>Pangalan ng Bata: Kapanganakan: Ika-__ ng _____, taong ____ Tirahan: _____</p>	
<p>Ukol sa kaso ng pangangalaga ng nabanggit na bata sa kadahilanang nakasulat sa ibaba, samahan at dalhin ang bata sa Hukumang ito.</p>	
<p>Bisa ng Kautusan: Hanggang ika-__ ng _____, taong ____</p>	
<p>Hindi na maaaring ipatupad ang kautusang ito pagkalipas ng panahong nabanggit sa itaas. Sa ganitong pangyayari, kinakailangang ibalik ang kasulatan ng kautusang ito sa Hukuman.</p>	
<p>Petsa: Ika-__ ng _____, taong ____ Pampamilyang Hukuman: Hukom:</p>	
<h4>Mga Tala</h4>	
<p>(Dahilan ng Pagdinig) Tulad nang nakasaad sa kalakip na papel</p>	
<p>(Dahilan sa Paglabas ng Kautusan ukol sa Biglaang Pagsundo) Tulad nang nakasaad sa kalakip na papel (Umiiral na Batas) Artikulo Bilang 12-1 ng Batas Pangkabataan (Mga Basehang Tala)</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. Inaakalang kinaroroonan ng bata: _____ 2. Ipinagkaloob ang kautusang ito sa Himpilan ng Pulisya ng _____ 	
Petsa ng Pagpapatupad	Ika-__ ng _____, taong ____ Oras: Umaga/Hapon ____ : ____
Lugar ng Pagpapatupad	
Kadahilanan kung sakaling di napatupad	
Tanggapan Katungkulan	Pangalan Selyo
<p>Petsa ng Pagsama ng Bata: Ika-__ ng _____, taong ____ Oras: Umaga/Hapon ____ : ____ Klerk ng Hukuman</p>	

書式 7 観護措置通知書

平成 年 少年第 号 保 護 事 件

観護措置通知書

殿

少年

年 月 日生

上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 所 書 記 官

Kasulatang Bilang 7. Pabatid Para sa Hakbanging Pagpigil at Pagkupkop

Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ____

**PABATID PARA SA HAKBANGING
PAGPIGIL AT PAGKUPKOP**

Para kay: _____

Pangalan ng bata:

Petsa ng kapanganakan: Ika- __ ng _____, taong ____

Tungkol sa kaso ng pangangalaga sa batang nabanggit sa itaas, ipinapabatid sa inyo na ang bata ay ipinasok sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan noong ika- __ (araw) ng _____ (buwan), ____ (taon) sa pangangailangang isagawa ang paglilitis ng kaso.

Petsa: Ika- __ ng _____, taong ____

Hukumang Pampamilya ng _____

Klerk ng Hukuman: _____

平成

年(少)第

号

付 添 人 選 任 届

家庭裁判所 御中

少年

に対する

保護事件について

弁護士

を付添人に選任いたしましたから連署の上お

届けいたします。

平成 年 月 日

選任者(少年保護者)

付添人住所

付 添 人

(注) 選任者()内は該当するものに○印をつける。

Kasulatang Bilang 8. Pabatid ukol sa Paghirang ng
Tagapaglingkod

Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ____

PABATID SA PAGHIRANG NG
TAGAPAGLINGKOD

Para sa Hukumang Pampamilya ng _____

Ipinababatid namin sa inyo ang paghirang kay
_____ na abogado bilang
tagapaglingkod para sa kaso ng pangangalaga
dahil sa _____ ng
batang si _____ sa pamamagitan ng
aming pinagsamang lagda.

Petsa: Ika- ___ ng _____, taong _____

Ang naghirang: (Ang bata)

(Ang Tagapangalaga)

Tirahan ng tagapaglingkod:

Pangalan ng tagapaglingkod:

Paunawa: Sa puwang ng “Ang naghirang”, bilugan ang isa.

書式 9 付添人選任に関する通知及び照会

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少年 殿

保護事件名

あなたの事件では、慎重に手続きを進めるため、弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは、裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで、同封した回答書に答えて書いて、 月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは、鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者)

電話 内線 番

Kasulatang Bilang 9. Pabatid at Pagtatanong sa Paghirang ng Tagapaglingkod

(Artikulo 22-3.1 ng Batas, Artikulo 30-3.1 ng Alituntunin)

Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ____

PABATID at PAGTATANONG sa PAGHIRANG NG TAGAPAGLINGKOD

Para sa Batang si: _____

Kasong Pangangalaga ng _____

Upang lubusang maisagawa ang pamamaraan sa pagdinig ng iyong kaso, kailangan mo ng isang tagapaglingkod na abogado.

Kung ikaw o ang iyong pamilya ay hindi maghihirang ng sarili ninyong tagapaglingkod na abogado, ang hukuman ang maghihirang nito.

Maaari lamang na isulat ang iyong kasagutan sa kalakip na papel at iparating ito sa tanggapan ng Pampamilyang Hukuman ng _____ bago dumating ang araw o hanggang sa ika ___ ng _____, ___ (buwan at taon). Kung naninirahan ka sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan, maaaring iabot mo ang sinabing papel sa isang guro diyan.

Ika- ___ ng _____, taong ____

Pampamilyang Hukuman (Taong Tagapamahala)

Numero ng Telepono:

Lokal:

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について, 次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

- 私か私の家族が弁護士である付添人をつけます
付添人の名前は, (弁護士会) です。
(分かれば書いてください。)
- 裁判所で弁護士である付添人をつけてください。

平成 年 月 日

少年 印

Kasulatang Bilang 10. Tugon sa Paghirang ng Tagapaglingkod
(Artikulo 22-3.1 ng Batas, Artikulo 30-3.1 ng Alituntunin
Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ____

KASULATANG PAGTUGON ukol sa PAGHIRANG NG TAGAPAGLINGKOD

Sa Kagalang-galang na Pampamilyang Hukuman:

Ang aking tugon ukol sa kasong pangangalaga ay ang sumusunod: _____

Markahan ng “check” ang sagot.

- Maghihirang ako o ang aking pamilya ng tagapaglingkod na isang abogado. Ang pangalan ng tagapaglingkod ay _____
ng (Samahan ng mga Abogado ng _____).
(Isulat kung alam)
- Hinihiling ko na maghirang ang hukuman ng tagapaglingkod na isang abogado.

Ika- ___ ng _____, taong ____

Pangalan ng Bata

Lagda

決 定 通 知 書

少 年 法 第 〇〇 号 少年 殿

(保護者) 〇〇 殿

平成 〇〇 年 〇 月 〇 日

家庭裁判所

裁判所書記官

少年に対する平成 〇〇 年 第 〇〇 号 少年 殿 保護事件について
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。

この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再
び過ちを犯さないよう心がけてください。

Kasulatan Bilang 11. Pabatid ng Kapasyahan (walang isasagawang pagdinig)

Kasong Pambata Bilang ___ ng taong _____

PABATID NG KAPASYAHAN

Para sa batang si: _____

Para sa tagapangalaga: _____

Petsa: Ika- ___ ng _____, taong _____

Hukumang Pampamilya ng _____

Klerk ng Hukuman _____

Batay sa resulta ng pagsusuring isinagawa sa Kasong Pambata Bilang ___ ng taong _____ hinggil sa kaso ng pangangalaga dahil sa _____ ng bata, alinsunod sa kapasyahan ng Hukom na si _____ sa araw na ito, at pagkairal ng Seksyon 1 ng Artikulo 19 ng Batas Pangkabataan, hindi isasagawa ang pagdinig at isinasara na ang kaso.

Ang kapasyahang ito ay iginawad batay sa paniniwalang hindi na gagawa muli ng pagkakamali ang bata at nagmumula sa pag-asang nabuo sa kanyang sariling pagi-iisip. Maaari lamang na magpunyaging hindi na maulit ang paggawa ng anumang pagkakamali.

平成 年 少年第 号

証人召喚状

証人 殿

少年

上記少年に対する 保護事件について、あなたを証人としてお尋ねしますから、来る 月 日 午前 時 分に当裁判所少年審判廷（階）に出頭してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注 1 出頭の際は、印鑑を持参し、この召喚状を差し出してください。出頭したときは、旅費、日当を請求することができます。
- 2 正当な理由がないのに出頭しないときは、勾引されたり、科料又は罰金、もしくは拘留に処せられたりすることがあります。

Kasulatan Bilang 12. Abiso para sa Pagtawag ng Testigo
Kasong Pambata Bilang ___ ng taong ____

ABISO PARA SA PAGTAWAG NG TESTIGO

Para sa testigo: _____

Pangalan ng Bata: _____

Tatanungin kayo bilang testigo sa kaso ng pangangalaga dahil sa _____ ng nabanggit na bata. Maaari lamang na humarap kayo sa silid-hukuman ng Hukumang Pambata sa ika-__ palapag nito sa ganap ng _____ (oras) ng umaga/hapon sa ika-__ (araw), _____, _____ (buwan at taon).

Petsa: Ika-__ ng _____, taong ____

Hukumang Pampamilya ng _____

Hukom _____

Paunawa:

1. Sa araw ng inyong pagharap, maaari lamang na dalhin ang inyong panglagda at ipakita ang abisong ito sa hukuman. Maaari ninyong kunin ang inyong ginugol sa pagbibiyahe at pang araw-araw na panustos.
2. Kung hindi kayo humarap sa hukuman ng walang makatwirang kadahilanan, maaaring sapilitang papupuntahin kayo dito at mapatawan ng magaan na multa o dili kaya'y mahatulang mapiit.

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所

証人等整理票		平成	年	月	日
氏名	印	事件番号	年少第	号	
年齢	年号を○で囲んでください。 昭和 年 月 日生 (年) 大正 明治	事件名			
職業		少年氏名			
住居		備考			該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他 ()
旅費日当	いずれかを○で囲んでください。 請求する 請求しない				

- (注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。
 2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

宣 誓 書

良^り心^{ょう}に^{しん}従^{したが}って、ほんとうの^{もう}ことを申^{もう}します。

知^しっていることをかくしたり、無^ないことを

申^{もう}したりなど、決^{けつ}して致^{いた}しません。

以^い上^{じょう}のとおり誓^{ちか}います。

しやうにん

証 人

Kasulatan Bilang 14. Panunumpa

PANUNUMPA

Ako ay nanunumpa, ayon sa aking budhi, na magsasabi ng buong katotohanan.

Hinding-hindi ako magkukubli ng aking nalalaman o magsasabi ng di-totoo.

Pinanunumpa ko ang mga nabanggit.

Testigo: _____

書式 15 通報の要請に関する照会

通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に関
するウィーン条約第 36 項第 1 項 (b) の規定に基づき、拘禁された事実を
の領事機関に通報することを要請することが
できます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発
することができます。

裁 判 所

回 答

通報することを 要請します。
 要請しません。

年 月 日

国 名

被拘禁者氏名

裁判所

御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

Kasulatan Bilang 15. Pagtatanong sa Kahilingang Pagbibigay-alam sa Konsulado

**PAGTATANONG SA KAHILINGANG
PAGBIBIGAY-ALAM SA KONSULADO**

Batay sa talaan 1 (b) ng Artikulo 36 ng Kasunduan sa Bienna ukol sa kaugnayang konsular, bilang isang mamamamayan ng _____, maaari kayong humiling na ipagbigay-alam sa Konsulado ng _____ ang iyong pagkakapiit.

Maaari lamang na sagutin ang kasulatan ng pagtugon, kung nais ninyong humiling na ipagbigay-alam ito o hindi.

Maaari kayong magpadala ng sulat sa inyong konsulado basta't ang nilalaman nito ay hindi labag sa mga batas at patakaran ng bansang Hapon.

Hukuman

PAGTUGON

Nais n'yo bang hilinging ipagbigay alam ang inyong pagkakapiit?

- (a) Oo
- (b) Hindi

Petsa: Ika-__ (araw) ng _____ (buwan), ____ (taon)

Bansa:

Pangalan ng taong nakapiit: _____

Para sa: Hukuman ng _____

Paunawa: Burahin ang di-kinakailangang isulat na titik

第4編 用語の対訳

第1 法律関係用語

[あ行]	[あ行]
アリバイ	alibay/palusot
異議審	pagdinig ng tutol
異議申立て	pagpapahayag ng pagtutol
意見聴取	pagdinig ng kuro-kuro/opinyon
意見陳述	pagsasaad/paghahayag ng kuro-kuro/opinyon
移送	paglipat
移送決定	kapasyahan ng paglipat
一時停止	pansamantalang pagtigil ng
	pamamaraan o pagtakbo ng kaso
一事不再理の効力	bisa ng pagbabawal na muling buksan ang kasong nahatulan na
一般事件	pangkahalatang kaso
一般遵守事項	pangkahalatang kondisyong dapat tuparin ayon sa batas
一般短期処遇	pangkahalatang panandaliang programa
一般保護観察	pangkahalatang pagkukup at pagsubaybay
一般保護事件	pangkahalatang kaso ng pangangalaga
居直り強盗	Pagnanakaw na ginamitan ng pananakot/karahasan matapos mahuli sa akto
違法収集証拠	katibayang nakuha nang labag sa batas
違法性	pagkalabag sa batas
違法性阻却事由	kadahilang tumataliwas sa pagkalabag sa batas
院外委嘱指導	pagpapaubaya ng edukasyon ng bata sa labas ng institusyon
因果関係	kaugnayan ng sanhi at bunga
淫行	illegal na pagtatalik
引致	pagdadala ng pinaghihinalaan (nasasakdal, saksi) sa iniatas na lugar
引致状	kautusan ng pagdadala ng pinaghihinalaan sa iniatas na lugar
インテーク	Paggamit o pag-inom
インテーク基準	batayan ng paggamit o pag-inom
當利の目的	layuning kumita
閲覧	pagsusuri
援助	pagtulong
押印	pantatak
押収	pagsamsam
押収物	bagay na sinamsam
[か行]	[か行]

蓋然的心証	impresyon/paniniwala na ang isang bagay o pangyayari ay maaaring totoo
回避	pag-iwas
回付	paglipat
開放的な処遇	bukas na pagtrato, paggamot
確信の程度の心証	matatag na paniniwala
確信犯	krimen na ginawa alinsunod sa pagkapanatikong paniniwala o pagbabatikos sa isang bagay, ideya o relihiyon
覚せい剤	istimulanteng gamot; amphetamine; methamphetamine
過失	kapabayaan
過失犯	salang kapabayaan
過剰避難	labis na pag-iwas sa napipintong panganib
過剰防衛	labis na pagtatanggol sa sarili
学校照会	pagtatanong sa paaralan
学校照会書	kasulatang nagtatanong sa paaralan
仮釈放	pansamantalang pagpapalaya
仮収容	pansamantalang pagpigil
仮退院	pansamantalang paglabas mula sa institusyon
簡易送致	sumaryang pagpapadala ng kaso
簡易の呼出	sumaryang abiso o pabatid
管轄	hurisdiksiyon; nasasakupan
環境調整	pag-sasaayos ng kapaligiran
環境調整の措置	hakbang sa pagsasaayos ng kapaligiran
環境調整命令	kautusan sa pagsasaayos ng kapaligiran
勧告	rekomendasyon
観護措置	hakbangin sa pagpigil at pagkukop ng bata
観護措置決定	kapasyahan sa pagpigil at pagkukop
観護令状	kautusan sa pagpigil at pagkukop
観察	superbisyon/pagsusubaybay
鑑定	pagsusuri/kuro-kuro ng dalubhasa
鑑定人	eksperto/dalubhasa
鑑定留置	paglagi na iniutos ng hukuman para masuri ng dalubhasa
還付	pagsasauli (ng mga bagay na nasamasam)
鑑別結果	resulta ng pagsusuri ng kasurian (pag-iisip at pangangatawan)
鑑別結果通知書	pabatid ukol sa resulta ng pagsusuri ng kasurian (pag-iisip at pangangatawan)
期間	haba ng takdang panahon
棄却	pagpapawalang-saysay
危険性の予測	nakikinitang panganib
期日	araw ng paglilitis
既遂	pagtatapos ng paggawa ng krimen

偽造	panghuhuwad; pagpapalsipika
既判力	kapangyarihan ng pasya ng hukuman; “res judicata”
忌避	paghamon sa kwalipikasyon ng hukom na dinggin o litisin ang kaso
却下	pagpapawalang-saysay
凶悪犯	mabigat na krimen
教科教育	edukasyong pampaaralan
教科指導	paggabay base sa kurikulum
凶器	nakamamatay na sandata
教唆	pambubuyo, pang-uudyok
矯正教育	edukasyong pang-koreksiyonal
強制送還	sapilitang pagpapauwi (sa sariling bansa)
強制退去	pagpapalisan sa bansa
強制調査	sapilitang pagsisiyasat/pagsusuri
強制的措置	sapilitang hakbang
強制的措置許可決定	kapasyahang nagpapahintulot ng sapilitang mga hakbangin
強制的措置不許可決定	kapasyahang pagtangi ng pahintulot sa sapilitang mga hakbangin
共犯	salang isinagawa nang may kasabwat
共犯者	kasabwat; kasangkot sa krimen
共謀	sabwatan
協力	pakikipagtulungan
居所	tirahan
緊急同行状	kautusan para sa dagliang/biglaang pagsundo
緊急避難	pag-iwas sa nakaambang panganib
禁制品	kontrabandong kalakal
国親	bansa bilang magulang
国親思想	pilosopiyang bansa bilang magulang
◇犯	kasong kakayahang makalabag sa labas
◇犯事由	dahilan ng kakayahang makalabag sa labas
◇犯少年	batang nagpakita ng kakayahang makalabag sa labas
◇犯性	nagpakita ng kakayahang makalag sa labas
訓戒	pagpapaala-ala/babala
刑事事件	kasong kriminal
刑事施設	institusyong penal
刑事処分相当	nararapat na kapasyahan sa kriminal na kaso
刑事責任年齢	sapat na gulang para magkaroon ng kriminal na pananagutan
輕微事件	magaan na kaso
刑法犯	paglalabag sa Kodigo Penal
決定	kapasyahan
決定書	kapasyahang nakasulat
決定書の送達	pagpapadala/paghahatid ng kapasyahang

	nakasulat
決定の執行	pagpapatupad ng kapasyahan
決定の通知	pabatid ukol sa kapasyahan
検察官関与決定	kapasyahang isali ang taga-usig sa kaso
検察官送致決定	kapasyahang ipadala ang kaso sa taga-usig
検証	beripikasyon, pagtitiyak
故意	kusa, balak, sadya, intensyon
合議体	lupon ng tatlong hukom
公共の福祉	kapakanang pampubliko
拘禁	pagpiit
後見人	tagapag-alaga, katiwala, tagapagtanggol
抗告	pag-apela laban sa kapasyahan ng hukuman (maliban sa hatol); pag-aapelang “Kokoku”
抗告受理決定	kapasyahang ukol sa pagtanggap ng pag-aapela
抗告受理の申立て	pagpapahayag ukol sa pagtanggap ng pag-aapela
抗告審	paglilitis ng apela
抗告の趣意	dahilan ng pag-aapela
抗告の申立て	pagsampa ng apela
抗告の申立書	kasulatan ng pagsampa ng apela
抗告不受理決定	kapasyahan ng di-pagtanggap ng apela
更新	pagbabago
更新決定	kapasyahan ukol sa pagbabago
更生	pagpapanibagong-buhay (ng nagkasala)
更正	pagwawasto
更正決定	kapasyahan ukol sa pagwawasto
公訴	pagsasakdal
公訴の提起	pagsasampa ng sakdal o pagsasakdal
交通事件	kasong may kinalaman sa trapiko
交通切符	tiket sa paglabag ng batas sa trapiko
交通切符制度	sistema sa tiket pangtrapiko
交通短期保護観察	panandaliang pagkukup at pagsubaybay sa batang lumabag sa batas pangtrapiko
交通反則通告制度	sistema sa pagbibigay-alam ng paglabag sa patakarang pangtrapiko
交通保護観察	pagkukup at pagsubaybay sa batang lumabag sa batas pangtrapiko
勾留	pagpiit bago ang pagsasakdal
勾留状	kautusan ng pagpiit bago ang pagsasakdal
勾留に代わる観護措置	hakbang pagpigil at pagsubaybay bilang kapalit sa pagpiit
勾留理由開示	pamamaraan ng paglalahad ng kadahilanan ng pagpiit bago ang pagsasakdal
国籍	nasyonalidad
国選付添人	tagapaglingkod/kasama/kasamahan na hinirang

国選弁護人	ng hukuman tagapagtanggol/abogado na hinirang ng hukuman
告知 告知調書	pabatid talaan ng pagbabatid (Artikulo 24 (2) ng Patakaran sa Paglilitis ng Kasong Pambata)
国法上の裁判所	ang hukuman ayon sa pambansang batas
国家賠償 個別処遇の原則	pagbabayad-pinsala ng pamahalaan prinsipyo ng pagtrato sa bawa't tao bilang indibiduwal
[さ行]	[さ行]
在院者	taong ipinaubaya sa institusyon
再抗告	muling pag-aapelang “Kokoku”
再審	muling paglilitis
在宅鑑別	pagsusuri ng pagkatao o kaugalian ng bata habang nasa sariling tirahan
裁判官の回避	pag-iwas ng hukom
裁判権	kapangyarihang hudisyal
裁判長	punong-hukom
酒酔い	kalasingan
差戻し	pagbabalik; pagsasauli
差戻後の審判	pagdinig/paglilitis ng kasong ibinalik
参考人	testigong walang panunumpa
事案軽微	magaan na kaso
死刑	parusang kamatayan
試験観察	pansamantalang pagsubok na pagsusubaybay
試験観察決定	kapasyahan ukol sa pansamantalang pagsubok na pagsusubaybay
事件記録	talaan ng kaso
事件の再起	pag-ulit ng pagsampa ng kaso
事件の調査	pagsusuri ng kaso
事後審	pagsusuri ng pangyayari matapos ang orihinal na hatol
事実審理の結果	resulta ng pagdinig ng mga pangyayari/ resulta ng paglilitis
自首	pagsuko nang kusang-loob
施設送致申請	petisyong maipadala sa isang pasilidad
施設送致申請事件	kasong batay sa petisyong maipadala sa isang pasilidad
私選付添人	sariling hinirang na tagapaglinkod
執行	pagpapatupad (ng parusa)
執行機関	tanggapang tagapagpaganap
執行指揮	pangangasiwa ng pagpapatupad (ng parusa)
執行指揮書	kasulatan ukol sa pangangasiwa ng pagpapatupad

執行のための同行状	(ng parusa) kautusan ng pagsundo para sa pagpapatupad (ng parusa)
執行の停止	pansamantalang pagtigil ng pagpapatupad
指導監督	patnubay at pagsusubaybay
児童自立支援施設送致決定	kapasyahan ng pagpapadala sa Tanggapang Tu- mutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan
児童相談所長への送致決定	kapasyahan ng pagpapaubaya sa Tanggapan ng Pamamatnubay ng mga Bata
児童養護施設送致決定	kapasyahan ng pagpapadala sa Tahanan para sa Pagkalinga ng mga Kabataan
自白	pagtatapat
司法	hustisya
司法的機能	tungkuling panghustisya
社会記録	talaang panlipunan
社会貢献活動	makuhulugang gawaing panlipunan
社会資源	kayamanang panlipunan
社会適応性	panlipunang pakikibagay
社会生活	bahagi ng pamumuhay ukol sa pakikitungo sa kapwa o pakikipaghalubilo sa komunidad
社会内処遇	pagtrato sa loob ng lipunan at sa labas ng isang institusyon
社会調査	panlipunang pagsusuri
社会防衛	panlipunang pagsasanggalang
社会防衛思想	pilosopiya ukol sa panlipunang pagsasanggalang
終局処分	panghuling kapasyahan
住居	palagiang tirahan
住所	tirahan
自由心証主義	prinsipyo ng malayang pagpapasya ng hukom ukol sa maaaring halaga ng katibayan
重大な事実誤認	malubhang kamalian sa pagtiyak ng mga pangyayari
集団講習	araling pang-grupo
集団処遇	pagtrato sa grupo
収容区分	klasipikasyon ng pagkapigil
収容継続	pagpapatuloy ng pagkapigil
収容継続決定	lapasyahan ukol sa pagpapatuloy ng pagkapigil
収容継続申請	kahilingan sa pagpapatuloy ng pagkapigil
収容継続申請事件	kaso hinggil sa paghiling sa pagpapatuloy ng pagkapigil
受命裁判官	hukom na inatasang duminig sa kaso
準抗告	Kwasi na pag-aapelang “Kokoku”
遵守事項	mga alituntuning dapat sundin

遵守事項違反	paglabag sa mga alituntuning dapat sundin
準少年保護事件	parang kaso ukol sa pangangalaga ng bata
証言	testimonya; paglalahad
証拠	katibayan; ebidensya
証拠調べ	pagsusuri ng katibayan, ebidensya
証拠法則	patakaran ukol sa katibayan, ebidensya
小舎制	Sistema ng pagpapaubaya ng isang maliit na grupo ng mga bata sa isang bahay
証人	testigo; saksi
証人尋問	pagsusuri ng testigo/saksi
証人尋問権	karapatang sumiyasat ng testigo/saksi
証人等の費用	gastos ng testigo at iba pa
少年	bata; kabataan
少年院送致	pagpapadala sa Repormatoryo para sa mga Kabataan
少年院送致決定	kapasyahan ukol sa pagpapadala sa Repormatoryo para sa mga Kabataan
少年鑑別所収容の一時継続	pansamantalang pagpapatuloy ng pagpigil sa Tahanang Paurian ng mga Kabataan
少年審判	paglilitis ng kasong pambata
少年審判手続	pamamaraan ng paglitis ng kasong pambata
少年調査記録	talaan ng pagsusuri tungkol sa pagkatao ng bata
少年調査票	ulat ng pagsusuri tungkol sa pagkatao ng bata
少年の刑事事件	kriminal na kaso ng bata
少年の健全な育成	malusog at mabuting pagpapalaki sa bata
少年の保護事件	kaso ng pangangalaga ng bata
少年非行	nagawang pagkakamali ng bata
少年保護事件	kaso ng pangangalaga ng bata
少年補償	bayad-pinsala sa bata
少年補償事件	kaso ng pagbayad-pinsala sa kasong pambata
抄本	isang bahagi ng dokumento
証明書	katibayan; sertipiko
処遇勧告	rekomendasyon hinggil sa pagtrato
職業指導	patnubay sa kabuhayan
職業補導	pagsasanay at patnubay sa kabuhayan
職権主義	prinsipyo ng kapangyarihan sa opisyal na katayuan
職権主義的審問構造	kaayusang kung saan ang pagsisiyasat at pagdinig ay nasasagawa batay sa prinsipyo ng opisyal na kapangyarihan
触法少年	batang wala pang labing apat na taong gulang na pinagbibintangan lumabag sa batas
所在不明	nawawala
除斥	pagpapaalis ng hukom sa pagdinig ng kaso batay sa batas
処断刑	parusang napabibigat o napagagaan ng batas
処分の著しい不当	malubhang di-nararapat na hakbangin
親権	kapangyarihan ng mga magulang

親權行使	pagpapatupad ng kapangyarihan ng magulang
親權尊重	paggalang sa kapangyarihan ng magulang
人権尊重	paggalang sa karapatang pangtao
人権保護	pagtatanggol ng karapatang pangtao
人権保障	panggarantiya ng karapatang pangtao
身上調査表	tala ng pagsusuri ng personal na kabuhayan
心身鑑別	pagsusuri ng pag-iisip at pangangatawan
身体の自由の拘束	pagsupil sa pisikal na kalayaan
人定質問	katanungan upang matukoy ang nasasakdal
審判	pagdinig/paglilitis
審判開始決定	kapasyahan ukol sa pagsimula ng pagdinig/paglilitis
審判権	karapatang madinig/malitis ang kaso
審判不開始決定	kapasyahan ng di-pagsimula o di-pagsasagawa ng pagdinig/paglilitis
審判期日	petsa ng pagdinig/paglilitis
審判期日通知書	kasulatang pambatid ukol sa petsa ng pagdinig/paglilitis
審判結果通知	pabatid ukol sa resulta ng pagdinig/paglilitis
審判条件	kondisyon sa pagdinig/paglilitis
審判状況説明	pagpapaliwanag ukol sa estado o katayuan ng pagdinig/paglilitis
審判調書	talaan ng pagdinig/paglilitis
審判廷	silid-hukuman
審判に付すべき少年	batang ihaharap sa pagdinig/paglilitis
審判の併合	pagsasama ng pagdinig ng ilang kaso
審判非公開	di-pagbukas ng pagdinig/paglilitis sa publiko
審判傍聴	pagdalo sa pagdinig/pagdalo sa paglilitis
性格の矯正	pagbabago ng pagkatao
生活指導	patnubay sa pamumuhay
成人	taong nasa sapat ng gulang
正当防衛	makatwirang pagtatanggol sa sarili
正本	tunay na kopya; orihinal na kopya
責任	pananagutan; responsibilidad
責任能力	kakayahang umako ng pananagutan o responsibilidad
接見交通権	karapatan ng isang nakapiit o bilanggo na makipag-ugnayan
接見の禁止	pagbabawal sa isang nakapiit o bilanggo na makipag-ugnayan sa labas
接見の制限	pagtatakda o paglilimita ng pag-uugnayan
宣誓	panunumpa
専門的知識の活用	paggamit ng dalubhasang kaalaman
全件送致主義	prinsipyo ukol sa pagpapadala ng lahat ng kasong pambata sa Hukumang

捜査	Pampamilya
捜査機関	pagsisiyasat
捜索	tanggapang nagsisiyasat
送致	paghahalughog
訴訟法上の裁判所	pagpapadala
	ang hukuman batay sa Batas ukol sa Pamamamaraan ng Paglilitis
粗暴犯	marahas na krimen
損害	pinsala; sira
損害賠償	bayad-pinsala
[た行]	[た行]
体育指導	edukasyong pisikal, edukasyong pangkatawan, "P.E."
退院	pagpapalabas mula sa institusyon
逮捕	pagdakup
知事への送致決定	kapasyahan ng pagpapadala ng kaso sa Punong Lalawigan/gobernador
中間少年	kabataang nasa kalagitnaang gulang (16-17 taong gulang)
長期の処遇	matagalang programa
調査	pagsusuri
調査官	Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya
調査命令	kautusan ng pagsusuri
調査報告書	ulat ng pagsisiyasat
直送事件	kasong tuwirang/diretsong ipinadadala sa Hukumang Pampamilya
陳述録取書	dokumento ng nakuhang pahayag
陳述録取調書	talaan ng nakuhang pahayag
通行禁止	pagbabawal ng pagdaan
通行区分	pagtatakda ng daanan
通告	pabatid
通訳	pagsasalin
通訳人	tagapagsalin
付添人	tagapaglingkod/kasama/kasamahan sa paglilitis
付添人の選任	paghirang ng tagapaglingkod
連戻し	pagpapabalik ng naglayas
連戻状	kautusan ng pagpapabalik ng naglayas
適正手続	wastong kaparaanan ng batas
伝聞証拠	katibayang hango sa sabi-sabi
伝聞法則	patakarang ukol sa mga sabi-sabi
同行	paghatid o pagsama
同行状	kautusan ng paghatid o pagsama
動向視察	pagsubaybay ng kalagayan ng batang nakakupkop
謄写	kopya
謄本	certipikadong kopya
道路交通事件	kasong ng trapikong panlansangan

特別活動指導	pagsimula ng espesyal na mga gawain/ak- tibidades
特別遵守事項	natatanging mga kondisyong dapat sundin
特別法犯	paglabag sa natatanging batas
[な行]	[な行]
任意調査	kusang-loob na pagsusuri
任意同行	kusang-loob na pagsama
年少少年	kabataang nasa mababang gulang (14 at 15 gu- lang)
年長少年	kabataang nasa mataas na gulang (18 at 19 gulang)
年齢超過	paglampas sa edad ng bata
[は行]	[は行]
犯罪	krimen; pagkakasala
犯罪少年	batang gumawa ng krimen
犯罪の嫌疑	paghihinala ng paggawa ng krimen
反対尋問	balik-tanong (ng kabilang panig)
反対尋問権	karapatang magbalik-tanong
被害者	biktima
被害者調査	pagtatanong sa biktima
非行	paggawa ng pagkakamali
非行事実	ang nagawang pagkakamali
非行事実存在の蓋然性	malamang pagkakaroon ng katotohanan sa nagawang pagkakamali
非行事実の告知	pabatid ng nagawang pagkakamali
非行事実の認否	pagsang-ayon o pagtangi sa katotohanan ng gawaing masama
非行性	pagkakaroon ng katangian o inklinasyong gumawa ng pagkakamali
非行なし	walang batayang may nagawang pagkakamali
非常上告	di-pangkaraniwang pag-aapelang “Jokoku”
否認	pagtangi; di-pag-amin
否認事件	kasong tinatangihan ang paratang
秘密性	pagkakalihim
不告不理の原則	panuntuang walang paglilitis kung walang pag- sasakdal
不処分	di-paggawad ng hakbangin
不処分決定	kapasyahan ng di-paggawad ng hakbangin
不定期刑	walang katiyakang sentensiya
不服申立て	paghaharap ng pagtutol
不利益変更禁止	pagbabawal na baguhin ang hatol na lalabag sa kapakanan ng nasasakdal
分類処遇	pagtrato batay sa klasipikasyon
併合審判	pagsasama ng pagdinig/paglilitis ng ilang kaso
弁解	pagpapaliwanag
弁解の聴取	pagdinig ng paliwanag

変更の申出	pagsampa ng pagbabago
弁護士	manananggol; abogado
弁護人	tagapagtanggol
保安処分	mga hakbanging pangseguridad
報告	ulat
法廷遵守事項	mga bagay na dapat sundin ayon sa batas
法定代理人	legal na kinatawan
法的調査	legal na pagsusuri
法律記録	talaan ng mga batas
保護観察	pagkukop at pagsusubaybay
保護者	tagapangalaga
保護処分	hakbangin ukol sa pangangalaga
保護処分取消決定	hatol ukol sa pagsasawalang-bisa ng hakbanging pangangalaga
保護処分取消事件	kaso ukol sa pagsasawalang-bisa ng hakbanging pangangalaga
保護処分の競合	pagsasabay ng mga hakbanging pangangalaga
保護処分の取消し	pagsasawalang-bisa ng hakbanging pangangalaga
教育的措置	pang-edukasyon na mga hakbang o panukala
(保護的措置)	(hakbanging pangangalaga)
没取	pagkumpiska
没取決定	kautusan ng pagkumpiska
没取に係る物の返付	pagsasauli ng kinumpiskang bagay
補充捜査	karagdagang pagsisiyasat
補償の払渡し	pagbabayad-pinsala
補導委託	pagpapaubaya ng patnubay para sa bata
補導委託先	institusyon kung saan ipapaubaya ang patnubay ng bata
補導委託費	gastos para sa pagpapaubaya sa patnubay ng bata
補導援護	patnubay at tulong
本籍照会	pagtatanong ukol sa palagiang tirahan
本籍照会書	kasulatan ng pagtatanong ukol sa palagiang tirahan
翻訳	pagsasalin
翻訳人	tagapagsalin
[ま行]	[ま行]
身柄付送致	pagpapadala ng kaso na may kasamang pagpigil
みなし勾留	pagpipiit sa isang lugar sa kapasyahan ng taga-usig
無職の者	taong walang trabaho
無断外出	paglabas ng walang pahintulot
面前告知	pabatid sa harap ng bata
申出	paghiling
申出人	taong humihiling

黙秘権	karapatang magsawalang-kib o; karapatang hindi sagutin ang tanong
黙秘権の告知	pabatid ng karapatang magsawalang-kibo; karapatang hindi sagutin ang tanong
戻し収容	pagbabalik sa institusyon
戻し収容決定	kapasyahan ng muling pagbalik sa institusyon
戻し収容処分	hakbang sa muling pagbabalik sa institusyon
戻し収容申請事件	kaso hinggil sa paghiling ng muling pagbabalik sa institusyon
[や行]	[や行]
有職の者	taong may trabaho
有責性	pagkakaroon ng pananagutan o responsibilidad
要保護性	pangangailangan ng pangangalaga
余罪	dagdag na sala
余罪捜査	pagsisiyasat ukol sa karagdagang krimen
呼出	abiso
呼出状	kautusan ng abiso
[ら行]	[ら行]
留置施設	pasilidad para sa pagpipiit
労役場留置	pagkakapiit sa bahay-trabahuhan dahil sa di- pagbayad ng multa

第2 調査関係用語

〔あ行〕	〔あ行〕
家出	paglalayas
居心地	kaginhawaan
遺伝	namamana; naisasalin
姻族	kamag-anak sa kasal
〔か行〕	〔か行〕
カウンセリング	pagpapayo
家族関係	ugnayang pampamilya
家長	puno ng pamilya
家庭内暴力	karahasan sa loob ng pamilya
義務教育	sapilitang edukasyon
虐待	kalupitan
血族	kadugo
高等学校(高校)	mataas na paaralan (high school)
行動傾向	nakanayang ugali;
	kaugaliang pagkilos;
	inklinasyon sa pagkilos
公立	publiko
危険ドラッグ(脱法ハーブ)	mapanganib na gamut (marijuana)
〔さ行〕	〔さ行〕
しつけ	disiplina
社会奉仕活動	paglilingkod sa komunidad
照会書	kasulatan ng pagtatanong
小学校	elementarya; mababang paaralan
上司	nakatataas
職種	uri ng hanapbuhay
私立	pribado
信条	paniniwala
親族	kamag-anak
心理テスト	pagsusuri ng kaisipan
住込み	kasambahay; nakikitira
生活史	talambuhay
生活費	pang-araw araw na gastos
成績	bunga, resulta
性的虐待	sekswal na pag-aabuso;
	sekswal na kalapastanganan
生理	regla
専門学校	pang-espesyalidad na paaralan;
	pangbokasyonal na paaralan
送金	pagpapadala ng pera
相談相手	tagapayo
〔た行〕	〔た行〕
退学	pagtigil ng pag-aaral

大学	kolehiyo o unibersidad
怠休	paglalakwatsa
短所	kahinaan ng pagkatao
中学校	junior high school
長所	kalakasan ng pagkatao
通勤	pagbibiyahe upang makarating sa lugar ng trabaho
手続	pamamaraan
手取り	naiuuwing sahod
転居	paglipat ng tahanan
転校	paglipat ng paaralan
転職	pagpapalit ng hanapbuhay; paglilipat ng trabaho
動機	motibo, sanhi
同棲	pagsasamang parang mag-asawa; pagsasama ng walang kasalan
同僚	kasamahan sa trabaho; kasamahan sa paghahanapbuhay
特技	kadalubhasaan; kahusayan; kagalingan
[な行]	[な行]
仲	ugnayan; kaugnayan
肉体関係	pagtatalak; ugnayang pisikal
入学	pagpasok sa eskuwela
[は行]	[は行]
配偶者	asawa
背景	nakaraan/karanasan
売春	prostitusyon; panandaliang aliw
父系	sa hanay ng ama
不純異性交遊	malaswang pagsasama ng babae at lalaki; kawalang selan
扶養	sustento
扶養家族	sinusustentuhang pamilya
保育所	bahay-alagaan o silid-alagaan ng sanggol
母系	sa hanay ng ina
[ま行]	[ま行]
身元引受人	tagapanagot, isponsor, garantor
面接	panayam; pagdalaw
[や行]	[や行]
役割	tungkulin/bahaging ginagampanan
幼少	pagkabata
幼稚園	kindergarten
[ら行]	[ら行]
離婚	diborsyo

労働条件

kundisyon sa trabaho

第 3 官庁等諸機関名

[あ行]	[あ行]
医務室	Tanggapang Pagamutan
医務室技官	Teknikal na mga opisyal ng Tanggapang Pagamutan
受付	pagtanggap; risepsyonista (tao)
[か行]	[か行]
海上保安庁	Ahensiya ng Kaligtasang Pandagat
外務省	Ministri ng Ugnayang Panlabas
科学調査室	Silid sa Siyentipikong Pagsisiyasat
家庭裁判所	Hukumang Pampamilya
家庭裁判所支部	Sangay ng Hukumang Pampamilya
家庭裁判所調査官(調査官)	Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya
家庭裁判所調査官室	Tanggapan ng Tagasuring Opisyal ng Hukumang Pampamilya
簡易裁判所	Hukumang Sumaryo
矯正管区	Punong Himpilan ng Pangrehiyong Pagwawasto
矯正管区長	Hepe ng Punong Himpilan ng Pangrehiyong Pagwawasto
矯正局	Kawanihan ng Pagwawasto
区	purok
区検察庁	Tanggapang Local ng Pamublikong Taga-usig
警察	Pulisya
警察官	pulis
警察署	himpilan ng pulisya
警察職員	kawani ng pulisya
警察署の保護室	silid-pangkupkop ng himpilan ng pulisya
警察庁	Pambansang Ahensya ng Pulisya
警察庁次長	Bise-Komisyonado-Heneral ng Pambansang Ahensya ng Pulisya
警察庁長官	Komisyonado-Heneral ng Pambansang Ahensya ng Pulisya
警視	superintendente ng pulisya
警視監	superintendeng tagapangasiwa ng pulisya
警視正	nakatataas na superintendente ng pulisya
警視総監	Superintendente-Heneral ng Metropolitanang Pulisya
警視庁	Kagawaran ng Metropolitanang Pulisya
警視長	hepe ng pulisya
警部	pulis inspector
警部補	katulong na pulis inspector
刑務官	opisyal ng bilangguan

刑務所	bilangguan
刑務所長	tagapangasiwa ng bilangguan
県	prepektura
県警察本部	Punong Himpilan ng Prepekturang Pulisya
検察	pampublikong pag-uusig
検察官	pampublikong taga-usig
検察事務官	opisyal ng tanggapan ng taga-usig
検察庁	Tanggapan ng Pampublikong Taga-usig
検事	taga-usig
検事正	Puno ng Pandistritong Tanggapan ng Pampublikong Taga-usig
検事総長	Pangkahalatang Taga-Usig
検事長	Tagapangasiwang Taga-usig
公使	ministro
厚生労働省	Ministro ng Kalusugan, Kapakanan at Pangkabuhayan
更正保護会	Samahang Tumutulong sa Pagpapanibagong Buhay
更正保護婦人会	Samahang Kababaihan naTumutulong sa Pagpapanibagong Buhay
拘置所	piitan
高等検察庁	Mataas na Tanggapan ng Pampublikong Taga-usig
高等裁判所	Mataas na Hukuman
高等裁判所長官	Pinunong Hukom ng Mataas na Hukuman
〔さ行〕	〔さ行〕
最高検察庁	Kataas-taasang Tanggapan ng Pampublikong Taga-usig
最高裁判所	Kataas-taasang Hukuman
最高裁判所長官	Punong Hukom ng Kataas-taasang Hukuman
最高裁判所裁判官	Hukom ng Kataas-taasang Hukuman
裁判官	hukom; huwes
裁判所事務官	opisyal ng hukuman
裁判所書記官	klerk ng hukuman
裁判長	pinunong hukom
市	lungsod
次長検事	Pangalawang Taga-usig Heneral
児童委員	Tagapangalaga ng Kapakanang Pambata
児童自立支援施設	Tanggapang Tumutulong sa Kasarinlan ng mga Kabataan
児童相談所	Tanggapan ng Pamamatnubay ng Bata
児童相談所長	Pinuno ng Tanggapan ng Pamamatnubay ng Bata

児童福祉司	Opisyal na Nangangalaga ng kapakanan ng kabataan
児童養護施設	Tahanan para sa Pagkalinga ng Kabataan
司法警察員	hudisyal na pulis
司法警察職員	hudisyal na kawani ng pulisya
司法巡查	hudisyal na konstable ng pulisya
巡查	opisyal ng pulisya
巡查長	nakatataas na opisyal ng pulisya
巡查部長	sarhento ng pulisya
少年院	Repormatoryo para sa mga Kabataan
少年鑑別所	Tahanang Paurian ng mga Kabataan
少年刑務所	Bilangguan para sa mga Kabataan
書記官室	Silid ng Klerk ng Hukuman
人權擁護局	Kawanihan ng Karapatang Sibil
審判官	hukom
審判廷	silid-hukuman/silid-pangdinig
税関	adwana
[た行]	[た行]
第1種少年院	pangunahing uri ng repormatoryo para sa kabataan
大使	embahador
大使館	embahada; pasuguan
第3種少年院	pangatlong uri ng repormatoryo para sa kabataan
第2種少年院	pangalawang uri ng repormatoryo para sa kabataan
第4種少年院	pang-apat na uri ng repormatoryo para sa kabataan
知事(都道府県知事)	Puno ng lalawigan, gobernador
地方検察庁	Pandistritong Tanggapan ng Pampublikong Taga-usig
地方検察庁支部	Sangay ng Pandistritong Tanggapan ng Pampublikong Taga-usig
地方更正保護委員会	Pangrehiyong Komite para sa Pagpapanibagong-buhay ng Maysala
地方裁判所	Pandistritong Hukuman
地方裁判所支部	Sangay ng Pandistritong Hukuman
地方法務局	Pandistritong Kawanihan para sa Legal na Pakikipag-ugnayan
中央更正保護審査会	Pambansang Komisyon ukol sa Pagpapanibagong-buhay ng mga Maysala
調査官(家庭裁判所調査官)	Tagasuring Opisyal (ng Pampamilyang Hukuman)
[な行]	[な行]
入国管理局	(Panrehiyong) Kawanihan ng Imigrasyon

入国管理事務所
入国管理局出張所

入国者収容所

〔は行〕
判事
判事補

福祉事務所
法務技官

法務教官
法務省
保護局

保護観察官
保護観察所
保護観察所長
保護区
保護司
補導委託先

〔ら行〕
領事
領事館

Tanggapan ng Imigrasyon
Sangay ng Tanggapan ng Panrehiyong Kawanihan
ng Imigrasyon
piitan ng imigrasyon

〔は行〕
hukom
Assistant/katulong na hukom
pumapangalawang hukom
Tanggapan ng Pangkapakanan
Dalubhasang Opisyal ng
Ministri ng Katarungan
Guro ng Ministri ng Katarungan
Ministri ng Katarungan
Kawanihan ng Rehabilitasyon/
Pagpapanibagong-buhay
opisyal ng probasyon
Tanggapan ng Probasyon
Pinuno ng Tanggapan ng Probasyon
Purok Probasyon
boluntaryong opisyal ng probasyon
institusyong kung saan ipinaubaya
ang pagpapatnubay ng kabataan

〔ら行〕
konsul
konsulado

第4 法令名

〔あ行〕	〔あ行〕
あへん法	Batas Hinggil sa Opyo
安保条約	Kasunduan hinggil sa Seguridad
(日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び 安全保障条約)	(Kasunduan ukol sa Pakikipag- tulongan at Seguridad ng Hapon at Amerika)
医師法	Batas hinggil sa Manggagamot
意匠法	Batas hinggil sa Proteksyon ng Disenyo
医療法	Batas hinggil sa Paggagamot
ウィーン条約	Kasunduan sa Vienna (Kasunduan sa Vienna hinggil sa Kaugnayang Konsular)
(領事関係に関するウィーン条約)	Batas hinggil sa Amnestiya
恩赦法	
〔か行〕	〔か行〕
外国為替及び外国貿易法	Batas ukol sa Dayuhang Pananalapi at Dayuhang Kalakalan
外国裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法	Batas ukol sa Pagtulong na Hudisyal sa Dayuhang Hukuman
海上交通安全法	Batas ukol sa Kaligtasan ng Trapiko sa Dagat
海上衝突予防法	Batas ukol sa Pag-iwas ng Banggaan sa Karagatan
覚せい剤取締法	Batas sa Pamamahala at Pagpigil ng Istimulanteng Gamot
家事事件手続規則	Mga Patakaran ukol sa Paglilitis ng mga Kasong Pampamilya
家事事件手続法	Batas hinggil sa Paglilitis ng mga Kasong Pampamilya
学校教育法	Batas hinggil sa Edukasyong Pampaaralan
割賦販売法	Batas hinggil sa Pamimili sa pamamagitan nang Hulugan
火薬類取締法	Batas sa Pamamahala at Pagpigil ng Pulbura
関税定率法	Batas hinggil sa Taripa ng Adwana
関税法	Batas hinggil sa Pamimili sa pamamagitan nang Hulugan
警察官職務執行法	Batas ukol sa Pagpapatupad ng Tungkuling Pangpulisya
警察法	Batas Pulisya
刑事訴訟規則	Patakaran sa Pamamaraan ng Paglilitis ng Kasong Kriminal
刑事訴訟費用等に関する法律	Batas ukol sa Gugulin sa Paglilitis ng Kasong Kriminal
刑事訴訟法	Kodigo ng Pamamaraan ng Paglilitis ng mga Ka- song Kriminal

刑事補償規則	Patakaran sa Pagbabayad-pinsala sa mga Kasong Kriminal
刑事補償法	Batas sa Pagbabayad-pinsala sa mga Kasong Kriminal
競馬法	Batas ukol sa Pangangarera ng Kabayo
軽犯罪法	Batas ukol sa Mababang Uri ng Paglabag sa Batas
刑法	Kodigo Penal
検察審査会法	Batas ukol sa Pagsisiyasat sa Pagtigil ng Pag-uusig
検察庁法	Batas ukol sa Tanggapan ng Pampublikong Taga-usig
憲法 (日本国憲法)	Saligang Batas (ng bansang Hapon)
公害罪法 (人の健康に係る公害犯罪の処罰に関する法律)	Batas hinggil sa Krimeng Nakaka-perhuwisyo sa Kapaligiran (Batas ukol sa Pagpaparusa sa mga Krimeng Nakakaperhuwisyo sa Kalusugan ng Tao)
航空機の強取等の処罰に関する法律	Batas hinggil sa Pagpaparusa ng Pagkamkam ng Sasakyang Panhimpapawid na Labag sa Batas
航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律	Batas hinggil sa Pagpaparusa sa mga Gawaing Nagdudulot ng Panganib sa Pagpapalipad
更生保護法	Batas hinggil sa Pagtulong sa Rehabilitasyon ng Nagkasala
国際捜査共助法	Batas hinggil sa Pagtulong sa Pandaigdigang Pagsisiyasat
国籍法	Batas hinggil sa Nasyonalidad
戸籍法	Batas sa Pagpapatalang Pampamilya
国家賠償法	Batas hinggil sa Pagbabayad Pinsala ng Bansa
[さ行]	[さ行]
裁判所法	Batas ukol sa Organisasyon ng Hukuman
酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律	Batas ukol sa Pagpigil sa mga Pamemerhuwisyo ng mga Lasing sa Publiko
自転車競技法	Batas ukol sa Pangagarera ng Magbibisikleta
児童買春, 児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律	Batas hinggil sa Pagpaparusa sa Gawaing may kinalaman sa Prostitusyon at Pornograpiya ukol sa Bata at iba pa at sa Pagprotektang Kabataan at iba pa
自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律	Batas ukol sa Pagpaparusa ng Gawaing Nagdulot ng Kamatayan o Pinsala sa Tao dahil sa pagbibisikleta
児童福祉法	Batas hinggil sa Kapakanan ng mga Bata
銃砲刀剣類所持等取締法	Batas sa Pagpigil ng Pagdadala ng mga Armas at Patalim
出入国管理及び難民認定法	Batas sa Pamamahala ng Imigrasyon at Pagkilala sa mga Manlilikas

少年院法 少年鑑別所法	Batas ukol sa Repormatoryo para sa Kabataan Batas ukol sa Tanggapang Nangangasiwa ng Pagsasauri ng mga Tirahan ng mga Bata
少年審判規則	Patakaran ukol sa Paglilitis ng Kasong Pambata
少年の保護事件に係る補償に関する規則 (少年補償規則)	Patakaran hinggil sa Bayad-Pinsala kaugnay sa Kaso ng Pangangalaga ng Bata (Mga Patakaran hinggil sa Bayad-Pinsala sa Bata)
少年の保護事件に係る補償に関する法律 (少年補償法)	Batas hinggil sa Bayad-Pinsala kaugnay sa kaso ng Pangangalaga ng Bata (Batas hinggil sa Bayad-Pinsala sa Bata)
少年法 商法 職業安定法	Batas ukol sa Kabataan Kodigo ukol sa Pangangalakal Batas ukol sa Kasiguruhan ng Hanapbuhay
人身保護法 新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法	Batas hinggil sa Habyas Korpus Panukalang Batas ukol sa mga Nararapat na Hakbangin sa Oras ng Kagipitan para sa Seguridad ng Bagong Pandaigdig na Paliparan ng Tokyo
森林法 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	Batas ukol sa Kagubatan Batas hinggil sa Kalusugang Pangkaisipan at Kapakanan ng mga May Kapansanan sa Isip
船員法 船舶安全法	Batas ukol sa mga Mandaragat Batas hinggil sa Kaligtasan ng Sasakyang Pandagat
船舶職員法	Batas ukol sa mga Bapor, Lunawan at Sasakyang Pandaragat
船舶法 組織犯罪処罰法 (組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律)	Batas hinggil sa Sasakyang Pandagat Batas hinggil sa Pagpaparusa sa Gawaing Krimen ng Sindikato (Batas hinggil sa Pagpaparusa ng mga Krimeng gawa ng Sindikato at Pagkokontrol ng Kita o Benepisyo mula sa Krimen at iba pa)
[た行] 大麻取締法	[た行] Batas hinggil sa Pagpigill ng Paggamit o Pagbebenta ng Marihuana
著作権法	Batas ukol sa Karapatang Magpalahathala
通貨及証券模造取締法	Batas hinggil sa Pagpigil ng Pagpapalaganap ng Huwad na Salapi at Seguro
鉄道営業法	Batas hinggil sa Pangangasiwa ng Perokaril (o ng mga Tren)
電気通信事業法	Batas hinggil sa Negosyong Pangtelekomunikasyon

電波法	Batas hinggil sa Radyo o Telegrapong Walang Kawad
盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律	Batas hinggil sa Pagpigil, Pagsugpo at Pagpaparusa sa iba't ibang uri ng Pagnanakaw
逃亡犯罪人引渡法	Batas hinggil sa Ekstradisyon
道路運送車両法	Batas hinggil sa Panlansangang Sasakyang Pangtrasportasyon
道路交通法	Batas hinggil sa Trapikong Panlansangan
毒物及び劇物取締法	Batas hinggil sa Pagpigil ng Mga Nakakalason at Mapanganib na Sangkap
〔な行〕	〔な行〕
日本国憲法	Saligang Batas ng bansang Hapon
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約(安保条約)	Kasunduan ng Magkatugong Pagtutulungan at Pagsisiguro ng Kaligtasan sa pagitan ng Bansang Hapon at Estados Unidos
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Natatanging Batas Kriminal ukol sa Pagpapatupad ng Kasunduan sa ilalim ng Artikulo VI ng Kasunduan ng Magkatugong Pagtutulungan at Pagsisiguro ng Kaligtasan sa pagitan ng Bansang Hapon at Estados Unidos ukol sa mga Pasilidad, Pook at ang Katayuan ng Hukbong Sandatahan ng Estados Unidos sa Bansang Hapon
日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Natatanging Batas Kriminal ukol sa Pagpapatupad ng Kasunduan kaugnay sa Katayuan ng Mga Kapuwersahan ng United Nations sa Bansang Hapon
〔は行〕	〔は行〕
売春防止法	Batas laban sa Prostitusyon
破壊活動防止法	Batas ukol sa Pagpigil o Pagsugpo ng mga Subersibong Pagkikilos o Aktibidades
爆発物取締罰則	Penal na Regulason hinggil sa Pagpigil ng mga Bagay na Sumasabog
罰金等臨時措置法	Batas hinggil sa Pansamantalang Hakbangin ukol sa Pagmumulta
犯罪捜査規範	Regulasyon sa Pagsisiyasat ng Krimen
犯罪捜査のための通信傍受に関する法律	Batas hinggil sa Paniniktik ng Komunkasyon para sa Pagsisiyasat ng Krimen
犯罪者被害者等給付金支給法	Batas hinggil sa Pagbibigay ng Benepisyo o Pambansang Bayad-Pinsala sa mga Biktima ng Krimen
犯罪被害者等の保護を図るための刑事手続に	Batas hinggil sa mga Hakbangin Kalakip sa

付随する措置に関する法律	Pamamaraan ng mga Kasong Kriminal para sa Pagprotektang mga Biktima ng Krimen at iba pa
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律	Batas hinggil sa Pangangasiwa at Pagpapabuti ng mga Negosyong Nakakaapekto sa Pangkahalatang Moralidad
武器等製造法	Batas hinggil sa Paggawa ng mga Sandata
法廷等の秩序維持に関する法律	Batas sa Pagpapanatili ng Kaayusan sa Silid-hukuman
暴力行為等処罰ニ関スル法律	Batas sa Pagpaparusa sa mga Gawaing Ginamitan ng Karahasan
保護司法	Batas hinggil sa Boluntaryong Opisyal ng Probasyon
[ま行]	[ま行]
麻薬及び向精神薬取締法	Batas sa Pagpigil ng mga Narkotiko at Gamot Panghinahon
麻薬及び向精神薬取締法等特例法（国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律）	Natatanging Batas sa Pagpigil ng mga Narkotiko at Gamot-Pampahinahon at iba pa (Batas sa Pagpigil ng mga Narkotiko at Gamot-Pampahinahon at iba pa sa ilalim ng Pandaigdigang Pagtutulungan sa Pagpigil ng mga Gawaing Nagpapalaganap ng mga Mapalinlang na Gawaing may kinalaman sa mga Pinagpipigil Gamot
未成年者飲酒禁止法	Batas ukol sa Pagbabawal sa Pag-inom ng Alak ng mga Kabataan
未成年者喫煙禁止法	Batas na Nagbabawal sa Paninigarilyo sa Kabataan
民事訴訟法	Kodigo ukol sa Pamamaraan ng Paglilitis ng Kasong Sibil
民法	Kodigo Sibil
[や行]	[や行]
有線電気通信法	Batas hinggil sa Telekomunikasyon sa Pamamagitan ng Kableng Koryente
郵便法	Batas Pang-koreo
[ら行]	[ら行]
領海及び接続水域に関する法律	Batas hinggil sa Pangteritoryong Karagatan at Kaugnay na mga Tubigan
領事関係に関するウィーン条約（ウィーン条約）	Kasunduan sa Vienna ukol sa Kagunayang Konsular
旅券法	Batas hinggil sa Pasaporte
労働基準法	Batas hinggil sa Pamantayan ng Pagtatrabaho

第 5 罪名

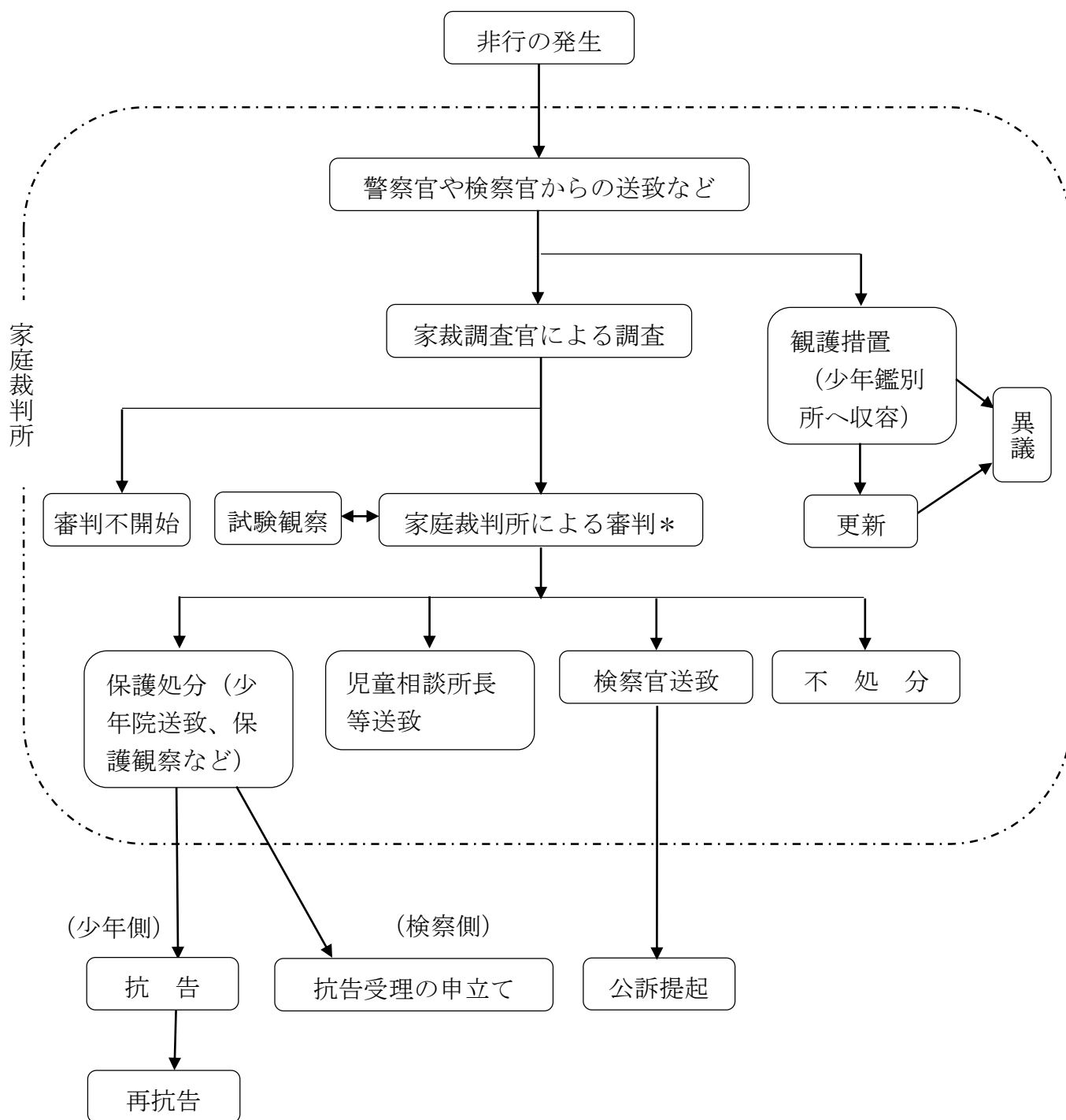
〔あ行〕 遺棄罪 遺棄致死傷罪	〔あ行〕 Pag-aabandona Pag-aabandonang humantong sa kamatayan o pagkapinsala sa katawan
遺失物等横領罪	Pag-angkin o paglustay ng nawalang bagay na di- sariling pag-aari
威力業務妨害罪	Puwersahang paghadlang sa negosyo o pagnenegosyo
往来危険罪 横領罪	Paglalagay ng panganib sa trapiko ng mga barko Pagdispalko ng salapi ng iba
〔か行〕 覚せい剤取締法違反	〔か行〕 Paglabag sa Batas sa Pagpigil ng Istimulanteng Gamot
過失傷害罪	Kapabayaang humantong sa pagkapinsala ng katawan
過失致死罪	Kapabayaang humantong sa kamatayan
過失運転致死傷罪	Kapabayaang sa pagmamaneho ng sasakyang humantong sa kamatayan
危険運転致死傷罪	Mapanganib na pagmamaneho na humantong sa kamatayan o pagkapinsala ng katawan
偽証罪	Pagsisinungaling sa ilalim ng panunumpa
偽造外国通貨行使罪	Paggamit ng palsipikadong salaping dayuhan
偽造通貨行使罪	Paggamit ng palsipikadong salapi
偽造無印公文書行使罪	Paggamit ng huwad na opisyal na kasulatan na walang lagda o selyo
偽造無印私文書行使罪	Paggamit ng huwad na pribadong kasulatan na walang lagda o selyo
偽造有印公文書行使罪	Paggamit ng huwad na opisyal na kasulatan na may lagda o selyo
偽造有印私文書行使罪	Paggamit ng huwad na pribadong kasulatan na may lagda o selyo
偽造有価証券行使罪	Paggamit ng huwad na seguro
器物損壊罪	Paninira o pamiminsala ng bagay
恐喝罪	Panghuhuthot
強制わいせつ罪	Pagsagawa ng kalaswaan sa pamamagitan ng pamumuwersa
強制わいせつ致死傷罪	Pagsagawa ng kalaswaan sa pamamagitan ng pamumuwersa na humantong sakamatayan o pagkapinsala sa katawan
脅迫罪	Pananakot; pagbabanta
業務上横領罪	Pagdispalko habang isinasagawa ang tungkulin

業務上過失往來危險罪	Kapabayaang sa pagganap ng tungkulin na humantong sa paglalagay ng panganib sa trapiko
業務上過失傷害罪	Kapabayaang sa pagganap ng tungkulin na humantong sa pagkapinsala sa katawan
業務上過失致死罪	Kapabayaang sa pagganap ng tungkulin na humantong sa kamatayan
強要罪	Pamimilit, pamumuwersa
現住建造物等放火罪	Sadyang panununog ng tinitirahang istraktura
建造物等以外放火罪	Sadyang panununog ng mga bagay maliban sa istraktura
建造物等延燒罪	Pagpapakalat ng apoy sa istraktura
公印偽造罪	Panghuhuwad ng opisyal na selyo
公印不正使用罪	Hindi tama o walang pahintulot na paggamit ng opisyal na selyo
強姦罪	Panggagahasa
強姦致死傷罪	Panggagahasang humantong sa kamatayan o pagkapinsala sa katawan
公正証書原本不實記載罪	Paglalagak ng di-totoong bagay sa isang pinatotohanang kasulatan o notaryadong kasulatan
公然わいせつ罪	Kalasmaan sa harap ng madla
強盜強姦罪	Panggagahasang naganap sa loob ng kasong pagnanakaw na may kasamang karahasan
強盜強姦致死傷罪	Panggagahasang naganap sa loob ng kasong pagnanakaw na may kasamang karahasan na humantong sa kamatayan
強盜罪	Pagnanakaw na may kasamang karahasan
強盜致死罪	Pagnanakaw na may kasamang karahasan na humantong sa kamatayan
強盜致傷罪	Pagnanakaw na may kasamang karahasan na humantong sa pagkakatapinsala sa katawan
強盜予備罪	Paghahanda para sa pagnanakaw na may kasamang karahasan
公用文書毀棄罪	Paninira ng kasulatang pampubliko
公務執行妨害罪	Paghadlang sa pagganap ng opisyal na tungkulin
昏睡強盜罪	Pagnanakaw na may kasamang karahasan sa pamamagitan ng pagpapawalangmalay sa biktima
〔さ行〕	〔さ行〕
詐欺罪	Panlililinlang
殺人罪	Pagpatay ng tao
殺人予備罪	Paghahanda sa pagpatay ng tao
私印偽造罪	Panghuhuwad ng pribadong selyo

私印不正使用罪	Di-tamang paggamit ng pribadong selyo
死体遺棄罪	Pag-aabandona ng bangkay
重過失傷害罪	Labis na kapabayaang humantong sa pagkakapinsala sa katawan
重過失致死罪	Labis na kapabayaang humantong sa kamatayan
住居侵入罪	Pagpasok sa tirahan nang walang pahintulot
銃砲刀劍類所持等取締法違反	Paglabag sa Batas sa Pagpigil ng Pagtataglay ng mga Armas at Patalim
傷害罪	Pagpinsala sa katawan
傷害致死罪	Pagpinsala sa katawan na humantong sa kamatayan
常習賭博罪	Nakagawiang pagsusugal
常習累犯竊盜罪	Nakagawiang pang-uumit ng taong may nakaraang kaparusahan
証人威迫罪	Pananakot sa testigo
証拠隠滅罪	Pagtatago at pagsisira ng katibayan
竊盜罪	Pang-uumit; pagnanakaw
贈賄罪	Pagbibigay ng suhol
〔た行〕	〔た行〕
逮捕監禁罪	Labag sa batas na pagdadakip at pagkukulong o pagdetensyon
逮捕監禁致死傷罪	Labag sa batas na pagdadakip at pagkukulong o pagdetensyon na humantong sa kamatayan o pagkakapinsala sa katawan
單純逃走罪	Simple, pangkaraniwang pagtakas
通貨偽造罪	Pagpapalsipika ng salapi
盜品等無償讓受け罪	Pagtanggap ng ninakaw na bagay nang walang kabayaran
盜品等有償讓受け罪	Pagtanggap ng ninakaw na bagay ng may kabayaran
道路交通法違反	Paglabag sa Batas hinggil sa Trapikong Panlansangan
毒物及び劇物取締法違反	Paglabag sa Batas hinggil sa Pagpigil ng mga Nakakalason at Mapanganib na Sangkap
賭博場開帳罪	Pagbubukas ng bahay-pasugalan
賭博罪	Pagsusugal
〔は行〕	〔は行〕
背任罪	Krimen na may katangiang pagsisira ng tiwala
犯人藏匿罪	Pagkukup ng kriminal; pagkukup ng taong nakasagawa ng pagkakamali
非現住建造物等放火罪	Sadyang panununog ng di-tinitirahang istraktura
売春防止法違反	Paglabag sa Batas laban sa

放火罪	Prostitusyon
暴行罪	Panununog
暴力行為等処罰ニ関スル法律違反	Pagsasalakay; karahasan
保護責任者遺棄罪	Paglabag sa Batas ukol sa kaparusahan para sa mga Gawaing Marahas
保護責任者遺棄致死傷罪	Pag-aabandonang isinagawa ng taong may pananagutang mangalaga
	Pag-aabandonang isinagawa ng taong may pananagutang mangalaga na human-tong sa kamatayan o pagkapinsala sa katawan
[ま行]	[ま行]
麻薬及び向精神薬取締法違反	Paglabag sa Batas sa Pamamahala at Pagpigil ng Narkotiko at Gamot-Pampahinahon
身の代金目的拐取罪	Pagkidnap o sapilitang pagdukot ng tao upang makakuha ng salaping pantubos
身の代金目的拐取幫助罪	Pagtulong sa pagkidnap o sapilitang pagdukot ng tao upang makakuha ng salaping pantubos
身の代金目的拐取予備罪	Paghahanda sa pagkidnap o sapilitang pagdukot ng tao upang makakuha ng salaping pantubos
身の代金目的被拐取者収受罪	Pagtanggap na kupkupin ang kinidnap sa layuning makakuha ng salaping pantubos
無印公文書偽造罪	Panghuhuwad ng opisyal na kasulatang walang selyo
無印私文書偽造罪	Panghuhuwad ng pribadong kasulatang walang selyo
名誉毀損罪	Paninirang-puri, libelo
[や行]	[や行]
有印公文書偽造罪	Panghuhuwad ng opisyal na kasulatang may selyo
有印私文書偽造罪	Panghuhuwad ng pribadong kasulatang may selyo
有価証券偽造罪	Panghuhuwad ng mga seguro

少年保護事件の手続の流れ



* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。